

予算決算審査委員会報告書

令和6年3月14日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和6年3月14日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第2号 令和6年度備前市一般会計予算（厚生）	継続審査	—
議案第17号 令和5年度備前市一般会計補正予算（第14号）（厚生）	継続審査	—

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第17号の審査（厚生）	2
議案第2号の審査（厚生）	13
閉会	53

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和6年3月14日（木）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午後4時30分	閉会
場 所 ・ 形 態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	中西裕康		土器 豊
		尾川直行		立川 茂
		西上徳一		石原和人
		山本 成		青山孝樹
		藪内 靖		松本 仁
		内田敏憲		奥道光人
		丸山昭則		
欠席・遅参・早退委員		なし		
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	市民生活部長	藤森仁美	マイナンバーカード普及課長	國光和美
	市民協働課長	木和田純一	環境課長	野崎信二
	保健福祉部長	大森賢二	保健課長	高橋多恵子
	介護福祉課長	梶藤さつき		
	福祉事務所長	浅野隆之	こども家庭課長	中野智子
	保健福祉部副参事	光友公昭		
	総括総合支所長	杉田和也	日生総合支所長	竹林秀高
	吉永総合支所長	小川勝巳		
傍 聴 者	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○森本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は15名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

本日は市民生活部、保健福祉部、総合支所の審査としております。

議案第2号令和6年度備前市一般会計予算、議案第17号令和5年度備前市一般会計補正予算(第14号)の2議案の審査を行いますことから、議事の運営に格別の御協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、いずれも補正予算の審査を先に行いますので、お願い申し上げます。

それでは、議事に入ります。

***** 議案第17号の審査(厚生) *****

まずは、議案第17号令和5年度備前市一般会計補正予算(第14号)中、市民生活部、保健福祉部、総合支所関係の審査を行います。

議案書の18ページをお開きください。所管別分類表は5ページです。

まず、審査範囲は18ページ、15款使用料及び手数料、1項使用料、1目総務使用料から22、23ページ、16款国庫支出金、2項国庫補助金、3目衛生費国庫補助金までを範囲といたします。

○奥道委員 19ページ、国庫支出金の国庫負担金の社会福祉総務費負担金、障害者自立支援給付費負担金3,160万円、歳出にも同じ項目でこれの倍額が計上されているんですけども、何かそれとも関係がありそうですか。

○浅野福祉事務所長 身体障害者に対する自立支援給付費、歳出でも出ていますが、その国庫の負担金です。これが近年大幅に上昇しているものがありまして、その要因の一つは共同生活援助、グループホームの費用の増加というのが国が地域移行を進めておりますので、その中で利用者が増加したということと、もう一つは就労継続支援の費用が増加によるものと考えております。国庫の補助率が4分の2、県が4分の1の補助となっております。

○立川委員 18、19ページ、1項使用料の3で衛生使用料、保健衛生使用料の節で187万5,000円上げていますが、最近この費用がどことも上がりぎみなんですけど、これどのぐらいの予定をしておられるんですか。

○野崎環境課長 実績見込みで上げさせていただいております。令和4年度には600件火葬件数だったものが、現在687件というところで計上させていただいております。

○立川委員 都市部では、1週間待ちであったり、いろんな状況で数が増えてくる、当然そういった団塊の世代の後半の人ということで予定は立てとんですが、今待ちというのはこれで687が昨年、今年度例えば700行くとして十四、五%のアップになろうかと思うんですが、待ち時間等々の発生が懸念されるんですか。大丈夫ですか。

○野崎環境課長 備前市では最大受付日当たり件数7件としております。次の日に回っていただくというようなことは、現在発生はしておりません。現在のところ、懸念はしておりません。

○森本委員長 ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲行かせていただいでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

22ページの17款県支出金、1項県負担金から最後までを範囲といたします。

○中西委員 24ページの衛生費県補助金、公害対策費補助金でEV、FCV車両導入支援事業補助金、歳出ではどこに出てくるのでしょうか。

○藤森市民生活部長 当初では見込んでおりませんでしたでしたが、新たに県の補助金の補助対象になることが分かったため追加で補助申請を行っております。デマンドの実証運行、上限が200万円、それから緑陽高校の通学費補助、こちらも上限が100万円ということの追加でございます。歳出としては、デマンドは委託料の当初の予算、それから緑陽高校も当初予算に出てきております。(後刻訂正あり)

○尾川委員 関連で、こういう緑陽高校なんかの補助金というたりするのは、どういう名称になつとるわけ。というのが、うっかりしとつたら担当者がぼやつとしとつたら、その補助金もらわずに済むということが起き得ることかなと思うたりするんじゃないけど。優秀な方ばあそろうとるから、その辺ぱつとアンテナ張ってきちつと対応されとんじやと思うんじゃないけど。

○藤森市民生活部長 補助金については、名称がこのEV、FCV車両導入支援事業補助金ということで、いろいろ情報収集して各部署と情報共有しながら、どういった補助金が当たるかというのをきちんと把握していく必要があると思っております。

○中西委員 29ページの雑入で総務費雑入、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金というのが650万円あるんですけど、これも歳出のところではどこに出てくるものなのでしょうか。

○藤森市民生活部長 デマンド型タクシーの車両購入に当たる補助金になります。10台分で1台が65万円ということで、650万円を計上しております。歳出は、デマンドの車両の購入に出ております。

○森本委員長 ほかに質疑のある方はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳入のほう終わらせていただいでいいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に移らせていただきます。

補正予算書は32ページをお開きください。所管別分類表は9ページです。

審査範囲は32ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から37ページ、2款総務費、4項選挙費までを範囲といたします。

○**青山委員** 35ページの地域振興費、13節委託料、自動運転の実証調査業務委託料、1,800万円減になっておりますけど、内容、理由を教えてください。

○**藤森市民生活部長** 自動運転の実証実験ということで、8月に補正予算で5,464万7,000円を上げさせてもらいました。補助金が3,000万円しかつかなかったということで、事業大きな開きがあったため、改めて事業の内容の見直しを行いました。事業全体にわたって経費の精査を行いましてレベル4に向けた検証業務を削除し、これだけ削減をいたしました。

○**青山委員** この前のバスの自動運転ということですね。分かりました。

○**尾川委員** 同じページの地域おこし協力隊報償費1,350万円、ちょっと金額多いんですけど、説明してもらいたいんですけど。

○**木和田市民協働課長** こちらの補正予算で減額させてもらう理由として、当初人数的には23名を見込んでおりました。隊員につきましては、それぞれ4月からの赴任の方もいらっしゃれば8月から、10月からと、それぞれ皆さん違うんですが、年度中途での任期満了しないままの除隊というか、退団される方、それからあと23名と予算を組んでおりましたが、見込みまでは至らなかったというところで、これだけの減額の補正をさせていただいている状況です。

○**尾川委員** 23名達成せなんだということですか。それはどう分析されて、要するにジャンルが合わなんだということと、それかあるいはもう人がやっぱり備前市へあんまり来手がねえなってきたんか、魅力あるところ結構ほかにあるんかどうか、その辺はどんなんですか、実態は。

○**木和田市民協働課長** 委員おっしゃるところもございます。実際、協力隊員の応募の形態として、担当部署が事業に照らし合わせて地域との協力も得られるような方を募集したいという要望があることがまず1点と、また別の方法として御本人さん、協力隊を希望される方が私はこちらのことをしたいという希望を受けて、事業とマッチングできるかどうかを判断はさせていただいたので、やみくもに希望された方を全て協力隊になっていただくということはないんですけど、そういったケースが見込みよりは少なかったというところではあるかと思います。

○**尾川委員** その応募者というのはある程度あったということで理解したら、もう足らんのかなんかと思うて、今人手不足で結構よそへ行くケースが多いように聞いたりしとんで、備前市あんまり希望者が少のうて、要するにもう希望者がおらんということで定員割れしとると理解しとって、そうじゃなしにやっぱりちゃんと合うマッチングできるだけの材料がなかったと理解したらええですか。

○**木和田市民協働課長** 2面ございまして、先ほど委員おっしゃられたように、募集の定員に達していない面もございます。また、そのマッチングした結果、見合うような方もいらっしゃらなかったというケースもありまして、両方合わせてこれだけの減額補正という形になっております。

○**中西委員** 34ページの地域振興費の負担金補助及び交付金、生活交通利用補助金、当初予算では840万円、今回800万円の減額と、6年の当初で80万円でしたか、この減額の理由に

ついて教えていただけませんか。

○藤森市民生活部長 当初は700人を対象に見込んでおりました。実際は申請がございましたのは40人程度ということで、こちらの差額が出ております。

○中西委員 どのような理由でこんなに申請の数が少なかったのでしょうか。

○藤森市民生活部長 このたびデマンドタクシーが走るということで、対象者をかなり絞っております。身体障害者手帳とか療育手帳を持っている方ということで、見込みが少し課題だったということになります。

○中西委員 しかし、身体障害者とか療育手帳、そういう障害者の手帳を持つとられる方は数的にはもっと大きいですね。40どころではない数なんで、その人たちにとってはこっちのほうが使いやすかったんじゃないかというような感じは受けるんですけども。

○藤森市民生活部長 委員のおっしゃられるとおりでとは思いますが、現実的には40人が申請されたということで、周知もこれからまた来年度に向けてしっかりしていきたいと考えております。

○中西委員 必要とされる人にとっては、大変大切な一つの利用形態だと思いますので、ぜひ周知の問題については細かく集中して選択ができるようにしてあげてほしいと思います。

○石原委員 先ほど青山委員取り上げられた自動運転の実証調査業務委託料、さっき部長言われたように当初五千数百万円で予算立てがされていて、国の補助金が補助金交付の率が下げられたこともあったんでしょうけれども、1,800万円の減額となっていますけれども、当初見込んだ実証調査の内容からどういったところを省かれて1,800万円分、当初とどういう、僕らも皆さん大勢乗せていただきましたけれども、どういうところがこういう形で減額になっとなかな。

○藤森市民生活部長 当初のときには全額補助金が充てられるかなというところで、5,464万7,000円という事業費を見込んでおりました。実際応募する自治体はかなり多かったということで、事業採択も多くの自治体に充てられたということで補助金が下がりました。レベル4に向けた評価検証業務を削除いたしました。

○石原委員 一般質問等でも何かやり取りがあったかなと思うんですけども、この規模縮小というか、レベルを下げたような実証調査、その分析も今されとなかな、どんなかなと思うんですけども、この調査をどのような形で次へ分析成果でもって次へつなげてどういう形でつながっていくかな、せっかく調査されたんですけど。

○藤森市民生活部長 今回自動運転に使った車両がグリーンスローモビリティということで、低速車両だったということもあって、渋滞回避のためにかなり手動運転に切り替えた区間がございました。次に向けては、もう少し速度の出る車両ということで実験ができればと思っております。自動運転の技術というのは、日進月歩で進んでおまして、そういった今後の技術の進展を見ながら取り入れられるものは取り入れて、それから市民の方の反応を見ながら何か市で取り入

れることができればと思っております。

○**藪内委員** グリーンスローモビリティの時速20キロ、それより出せる車両もあるんですか。

○**藤森市民生活部長** 開発中と聞いております。

○**森本委員長** 関連で質問はいいですか、この件は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○**青山委員** 37ページの戸籍住民基本台帳費、13節委託料の人材派遣業務委託料1,676万円の減はどういうことなんでしょうか。

○**國光マイナンバーカード普及課長** 当初予算では1,747万2,000円、あと実績としては71万2,000円ということで上がっているんですけども、実際はマイナンバーカードの普及に向けた人材派遣の委託料として2か月で集中して業務を行ったことによりますことで、集中的に行ったことと、あと職員がその部分をカバーして申請に当たったことにより金額がそう人材派遣にお願いすることもなく済みましたので、差額がこの金額になっております。

○**青山委員** ということは、直営でやられたと理解すればいいんですか。

○**國光マイナンバーカード普及課長** 職員がかなりこの部分に力を注いでおりましたので、直営でやったというところが大きかったと思います。

○**青山委員** 何名ぐらい職員の方が出られて、何名の方にこの指導をされたんですか。

○**國光マイナンバーカード普及課長** 職員につきましては約30名の職員が主に関わっているところなんですけれども、実際はその職員が同じ課の職員に声をかけたりとかということを行って職員全体で取りかかったというようなことがあります。人数としては正確に申し上げることはできないんですけども、かなりの職員がこの事業に関わって取りかかっているというところが大きかったと思います。

○**青山委員** 指導を聞きに来られた人はどのくらいいるんですか。

○**國光マイナンバーカード普及課長** 約20名から30名です。

○**青山委員** 職員じゃなくお客さんが20名。

何人ぐらい扱われたのかなと思ひまして。大変御苦労されたと思うんですけど。

○**國光マイナンバーカード普及課長** この人材派遣につきましては、マイナンバーカードを持たれてない方につきまして個別に申請を行っていくというものなんですけれども、個別ということには限らず施設とか、あと会社にもお声かけをさせていただきまして、マイナンバーカードを持たれていない方に対して備前市ではマイナンバーカード持たれていたらこういうメリットがありますよとか、あとはマイナ地域ポイントカードとかというの皆さんに交付をしておりますので、そのことも周知するというので市内の住民の方にお声かけて回っているというような事業でした。人材派遣につきましては、その業務につきまして人材派遣会社に委託をして行うという当初そういう案で進めておりましたが、実際はそこまでしなくても職員で大分カバーができるのではないかとこのところを考えまして経費節減のところも考えたりとかいたしまして金額を抑え

るように進めていきました。結局は、そういうことも行いながら人材派遣もやっぱり必要な時期がありまして、2か月間集中的に人材派遣の方に来ていただきまして、それは毎月2名というところだったんですけれども来ていただきまして、集中的に文書の発送とかということをお手伝いしてもらったり、あとまた市内を一緒に回っていただいたりということを行いました。

○**青山委員** 業務の内容を今説明していただいて、マイナンバーカードに情報を移すという仕事じゃなくて、いろんなところでマイナンバーカードの管理について説明をしたり、そういったようなことをされたということと理解したらいいんですか。

○**國光マイナンバーカード普及課長** マイナンバーカードを持てばどのようなメリットがあるかというようなこととかも説明させていただいております。

○**青山委員** 説明もされました、実際に職員が当たられたということとでいいですね。

○**藤森市民生活部長** 先ほど歳入のところで、中西委員が23ページ、地域公共交通維持確保支援事業補助金299万円の歳出がどこにあるかというのを聞かれて、デマンドの実証運行と緑陽高校の通学費補助とお答えしました。その後、私ページを間違えてしまいまして25ページのEV、FCV車両導入支援事業補助金が緑陽高校と間違えて申し上げました。こちらのEV、FCV車両導入支援事業補助金はEV車両の補助金で1台につき20万円、5台以内ということの100万円で、こちらは緑陽高校が関係ないものでございました。

○**森本委員長** 訂正が入りました。よろしいですか、質疑のほうは。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

37ページまで質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲へ進ませていただきます。

38ページ、3款民生費、1項社会福祉費、43ページまで、3款民生費、4項生活保護費。

○**立川委員** 38、39ページ、社会福祉費、社会福祉総務費、19節負担金補助及び交付金、この項目ほとんど△なとんですが、1件だけ重症心身障害者のレスパイトサービス拡大促進事業補助金ということで金額8万4,000円なんですけど、歳入で県の補助から4万2,000円、2分の1負担があったんですけど、この対象というのは何人ぐらいをめどにしておられるんですか。また、これケアする人のケアだと思うんで、どの程度のサービスを考えておられたのか、お教えいただきたいと思います。

○**光友保健福祉部副参事** 対象は現在のところ2名いらっしゃいます。内容としては、保護者の負担を軽減する、対象者の一時預かりというところで、施設に対象者を預けるというような制度になっております。

○**立川委員** 県の4万2,000円を歳入しとんで、2分の1の補助ということとでいいんですか、県のほうは。それと、今現在2名ということなんですけど、隠れのこういった方、どの程度つかんでおられるのか。

○光友保健福祉部副参事 補助は、県の2分の1のみでございます。あとどのくらいいらっしゃるかというのは、正直把握しておりません。

○立川委員 これも本当に介護する人が弱ってしまうということの防止のために県もやっておられるわけで、できるだけいろんな施設にアンテナ張っていただいて実数をつかんでいただいてケアが届くようにしていただきたいと思います。

○中西委員 38ページの社会福祉総務費の扶助費の障害者自立支援給付費、歳入のところでも出てきまして、御説明だとグループホームあるいは就労支援、継続支援というところが増えているということでしたけども、グループホームあるいは就労継続事業、どのくらい増えているものなんでしょうか。

○光友保健福祉部副参事 グループホーム、件数でいいますと令和4年度が934件、それから今年度見込みが1,014件となっております。就労継続ですが、令和4年度実績としましては1,959件、こちらのほうが見込み件数としては一緒ぐらいということになっております。1,933件の見込みという格好にはなっております。

○中西委員 就労継続は、これは少し目で見えるところがあるんですが、グループホームというのは障害者のグループホームというのは大分この間増えてきているんでしょうか。グループホームの定数あるいは件数なんかも増えているものなんでしょうか。

○光友保健福祉部副参事 新規施設というのは特には増えてはないんですけども、定数が増えていっているというような状況は備前市内では見受けられます。

○中西委員 40ページの民生費の児童福祉費、総務費の中の工事請負費、4,642万円の残が出てますんで、理由について教えてください。

○中野こども家庭課長 当初に伊部にあります放課後児童クラブかぜのこさんという備前中学校のプール跡地にB&G財団の助成を受けまして、2か所目の第三の居場所を新築するという計画で工事費を上げさせていただいておりましたけれども、そちら計画の見直しということで新築を見送る、中止するというので全額落とさせていただいております。

○中西委員 これはできなかったわけですか。

○中野こども家庭課長 計画を中止ということになっております。

○西上委員 同じページ、負担金補助及び交付金で子どもの居場所づくり促進事業補助金も、そこに関係あるんですか。

○中野こども家庭課長 市内の子ども食堂の運営についての市からの補助金になるんですけども、当初の見込みとしては市内4か所と新規で運営していただけたらということで金額を上げさせていただいておりましたが、この時期になりまして新規が1月から増えたということですが、全体的には必要が見込まれないということで100万円減額させていただいております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に進んでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

42ページ、4款衛生費、1項保健衛生費、最後まで49ページ、7款商工費、1項商工費、2目商工振興費までを範囲といたします。

○立川委員 42、43ページで保健衛生費の20節の扶助費、839万3,000円増額ということで、内容とその他御説明いただけたらありがたいんですが。

○中野こども家庭課長 こちらは子供医療費で、当初見込んでおりました金額よりもやはりコロナ禍明けということで受診控えをされなくなった傾向があるように思われます。少し金額が増えておりますので、月割りで割り戻した金額で増額をさせていただいております。

○立川委員 受診控えがオープンになったのではないかといいところなんですが、内容まで分かりませんか。分からなければいいですけど、もし分かればどういった専門科に行かれたんか。

○中野こども家庭課長 どういった医療機関、受診内容というところまでは把握できておりません。個々による事情もございますので、お答えが難しいと思います。

○中西委員 42ページ、衛生費、保健衛生費の委託料、健診委託料884万5,000円、当初予算での4,000万円ほどでしたか、4,000万円に対しての800万円ですから、その理由について、それと健診の率というのは少し向上しているのでしょうか。

○高橋保健課長 例年決算報告のときに不用額で多額に落とさせてもらっていますが、今年度に関しては集団健診が12月中で終了いたしましたので、不用額となる前に残金の精算をしまして今回2月補正で減額をさせていただいております。

また、実績に対しましてはコロナ禍以降、主にかん検診と骨粗鬆症検診がこの健診の委託料等に含まれているんですが、低調なままがん検診においては受診率はあまり増えておりません。

○中西委員 44ページの保健衛生費、予防費の委託料の予防接種委託料、これはコロナだけですか。インフルも含めてになりますか。

○高橋保健課長 予防接種委託料につきましてはコロナ以外の高齢者のインフルエンザ、また小児の定期予防接種の委託料等も含まれておりますが、今回減額をしているのは主にはコロナワクチン接種の委託料、またコールセンターの設置を12月で規模縮小したための減額、またコロナワクチンを今まで集団接種を年に数回行っていましたが、5年度は実施しなかったということもありまして、それら含めての減額でございます。

○中西委員 コロナの予防接種回数ですけど、回数を追うごとにやっぱり受診者は減ってきているんですか。

○高橋保健課長 御存じのようにコロナウイルス感染症の特効薬、それからワクチンによる予防等が近年普及しまして、皆さん回数を重ねるごとに接種率は下がっている状況です。

○尾川委員 45ページの扶助費の出産祝い金500万円マイナスなんですけど、この辺の状況を教えてもらえたらと思うんですけど。

○中野こども家庭課長 当初の見込みを年間180人ということで計上させていただいたものなのですが、実際2月末で既に支払い済みの対象者というのが103名でございました。この時期に見直しをしまして、伸び代がちょっとないのではないかとということで人数分50人分を減額させていただいた次第でございます。

○中西委員 44ページの保健衛生費、公害対策費の中での需用費、消耗品費、当初の予算に対しての減額の割合が少し高いんで、公害対策といえば試薬か何か、そういうもんかなと思うんですけども、この理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○野崎環境課長 環境課で所管している坑廃水处理場、市内に3か所ございます。そちらの薬品、それから光熱水費、電気代、そういったものが見込みよりも少なかったということでございます。

○中西委員 見込みより少なかったというのは、どういう意味なんでしょう。使う回数が少なかった、あるいは量が違っていた。

○野崎環境課長 量が少なかったといいますが、坑廃水处理場というのは雨の量に比例をして増えます。令和5年度については、雨の量が見込みよりも少なかった。したがって、その処理をする、そういった経費が思ったほどではなかったということでございます。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出のほう終わらせていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

7ページをお開きください。所管別分類表は1ページです。

第3表繰越明許費補正、質疑のある方どうぞ。

○中西委員 清掃費の焼却施設修繕、炉はたしか2つありますよね。2つとも稼働しているのでしょうか。この修繕というのは、2つの釜のどちらかなんでしょうか。

○野崎環境課長 クリーンセンター備前の焼却炉関係でございます。今回のこの焼却施設修繕というのは、炉自体ではございません。釜の中ではございません。ダイオキシンを出さないための施設としてバグフィルターという、いわゆる灰をこすような装置がございます。灰をこす布があるわけですが、布に灰が張りついてダイオキシンを出さないような構造になっている。灰がずっと付着し続けると目詰まりをしてしまうので、その灰を定期的に落とす必要がある。その灰を落とす、振り払うと言ったほうが適切かもしれませんが、電子パルスと申しまして、時折空気を送ってその灰をぱちんとはじいてやる、この空気を送るための圧縮設備に不具合がございまして圧縮空気が漏れるようなことになっている。圧縮空気をためるためにコンプレッサーで送り込んでいるわけですが、そこのためるタンクのところに接続されているパッキンが劣化をしております、どうも空気が漏れているということで、このパッキンを交換する作業、こちらの工事を現在行っているところでございます。

○中西委員 そうしますと、炉は2つともきちんと稼働していると。

○野崎環境課長 2炉とも稼働しております。

○中西委員 せっかく詳しい課長のお話をお伺いしたんで、これはバグフィルターを交換するだけではなくてバグフィルターについている灰を落とすための装置の空気を送るときのパッキンだったということによろしいですか。

○野崎環境課長 そのとおりでございます。

○中西委員 この程度の修理で346万5,000円、なかなか高い修理代には間違いないんですけど、繰越明許をしなければいけない理由は何なんでしょうか。このくらいなら、もう課長の一存で何か補正予算で上がっていたんじゃないかと思うんですけども。

○野崎環境課長 こちらの修繕は想定外でございました。こちらの故障が発見されたのが、令和6年1月30日でございます。そこから材料等を注文して据付けとなると、どうしても繰越しをせざるを得なかったというところでございます。

○尾川委員 想定外ということなんですけど、定期的な点検整備の計画はねんか、予算書なんか見てもちょっと何か今度落ちたり、金額変わってなかったと思うんですけど、やっぱりバグフィルターの掃除というのは定期的にやらないとやいけん、もう目詰まりするの分かつんじゃないけど、その辺ちょっと併せて説明してほしいんですけど。

○野崎環境課長 ごみの処理施設ということで停滞が許されないということで、日頃のそういった点検等は非常に重要でございます。そうしたそのプロと申しますか、その焼却炉の扱っている業者さんにも相談はかけるところなんですけど、今取り組んでいるのは職員による点検、そういったものに今力を入れているところでございます。職員自らがそういったものを発見して修繕計画を立てていくというところで、その中で今回のことについてはなかなかその因果関係と申しますか、その目に見えてすぐに分かるようなところではなかったというところで、不測の事態というところでございます。

○尾川委員 パッキンは定期的に普通バグフィルターなんかレンガ会社にいっぱいあるけど、バグフィルターというのは、だからそういうので定期的にやっぱり、そりゃ今言うフロックでざっと使ってもう修理賃かかるから、計画的に点検というのは難しい、せんというのが多いんじゃないけど、それじゃクリーンセンターなんか市の仕事というのはぴしっと定期的に整備していくというイメージがあるから、民間会社じゃったら安う上げるのに、行くまで行けというやつでやるから、ダウンするまで、その辺の感覚を教えてもろうたらと思う。

○野崎環境課長 耐用年数というのがございます。耐用年数に合わせて、すぐに交換というようなことができれば当然安心でもありますし、何も工夫する必要もないのかなというところではございますが、賞味期限と同じで耐用年数はこうなっているけどもというところで一般的には実際どうなのというところで、できれば品質が落ちない程度に長く使えればというところで、いろいろ研究をしているところでございます。

○森本委員長 関連ではないですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○立川委員 民生費の児福の家庭育児応援金、2,000万円の繰越しということなのですが、実情といますか、どういう状況でどうなっていきよんか、何件ぐらいとかというのが分かりましたら、これ3万円の分よね。

○中野こども家庭課長 こちらの家庭育児応援金、保育施設に子供を預けずに家庭で育児をしておられる生後6か月から3歳までのお子さんを見られている保護者に対して月額3万円ということと支給をさせていただいております応援金になりますが、見込みで支給の仕方というのが4か月ごとに区切りまして、この時期12月分、1月分、2月分、3月分の4か月というものを4月のほうに申請していただいて5月に支給するというような第3期の支給の方法になっております。その支払い分をこのたび繰越しということとさせていただいて、5月に支払いをさせていただきたいということとございます。人数としましては、その月その月で状況が変わりますので、全体的に何人ということが難しいんですけれども、大体月平均ということで対象の保護者が30人ぐらい、それからお子さんとしては40人弱ぐらい対象でおられます。

○石原委員 上から2つ目の戸籍住民基本台帳費に係るところですけれども、ここではほか1件とございますけれども、ほか1件というのはどういうところなのでしょう。

○藤森市民生活部長 こちらの改修業務は、マイナンバーカードへの氏名の振り仮名及びローマ字表記のために必要な戸籍附票システムと住民記録システムの改修になります。ほか1件というのは、住民記録システムの改修でございます。

○森本委員長 ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に進んでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次は、9ページをお開きください。

第4表債務負担行為補正です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体を通してありませんか。

○石原委員 先ほど児童福祉総務費ですか、第三の居場所で減額の御説明ございましたけれど、いま一度すみません、見直しになったか、計画がもうなくなったようなところだったんですけど、B&Gさんとも調整をされたり、それで助成金も受けての事業予算立てだったとは思いうんですけれども、その計画が見直しになった事情、理由は。

○中野こども家庭課長 伊部に計画しておりました備前市2番目の子ども第三の居場所ということとございますが、場所を先ほども備前中学校のプール跡地、今放課後児童クラブが建てられております隣地ということで計画をしておりましたが、あの場所自体が隣地の土地も備前市で購入

されて全体的に伊部小学校区の施設の関係ですとか、放課後の子供教育と土地の活用方法も含めて検討を全体的に市で再検討している状況もありました。あとそれから、寒河の今第三の居場所ということでさせていただいておりますけれども、そちらの運営もいろいろ市の直営ということでもございましたけれども、少しそこもB&Gさんの協議の結果、放課後児童クラブと一体化でさせていただこうということもいろいろございましたので、伊部を計画してくださっていたNPO法人さん、それからB&Gさんともいろいろ協議を重ねまして、このたびは2番目の伊部の新築は見送らせていただきたいということをお話をさせていただいたところでございます。

○森本委員長 それでは、以上で議案第17号中、市民生活部、保健福祉部、総合支所関係の審査を終わります。

休憩に入ります。

午前10時31分 休憩

午前10時45分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

***** 議案第2号の審査（厚生） *****

次に、議案第2号令和6年度備前市一般会計予算中、市民生活部、保健福祉部、総合支所関係の審査を行います。

まず初めに、大森保健福祉部長から発言があります。

○大森保健福祉部長 本会議のほうでも御報告させていただきましたが、改めて訂正のお願いでございます。

令和6年度の当初予算参考資料38ページでございます。

生活保護費の扶助費の明細に誤りがございましたので、正誤表をお配りしているかと思いますが、訂正をしていただきたいと思います。

単純に記載ミスということでございました。大変申し訳ございませんでした。よろしく願いいたします。

○森本委員長 大森部長からの発言がありました。皆様よろしく願いいたします。

それではまず、歳入から行いたいと思います。

予算書の22ページをお開きください。所管別分類表は8ページです。

審査範囲は22ページの14款分担金及び負担金、2項負担金、1目民生費負担金から29ページ、15款使用料及び手数料、2項手数料までを範囲といたします。別紙1と2を参照してください。

○青山委員 25ページの使用料、総務使用料の1節総務管理使用料、デマンド交通使用料が昨年は118万4,000円、今年度は3万円となっているんですけど、理由を教えてください。

○藤森市民生活部長 先ほどの2月の補正予算でも減額をしておりますけれども、実績見込みでございます。マイナンバーカード提示で無料ということで、今年度の収入も3万円ほどです。と

ということで、来年度の予算も3万円ということで計上させていただいております。

○青山委員 マイナンバーを提示すると無料ということで、その提示できなかった人が3万円分おられたということですか。

○藤森市民生活部長 1人200円ですので、大体150人ぐらいということになります。

○尾川委員 25ページの衛生使用料の保健衛生使用料、市営墓地永代使用料で169万円、これずっと同じ金額になっとなんですけど、最近墓じまいとか管理人がおらんようになるとか、結構そういう動きが田舎でもあると思うんですけど、その辺の見込みというのはあんまり影響ねえと判断されとんのですか。

○野崎環境課長 おっしゃられるように問合せとして墓じまい、そういったものは最近よく耳にします。しかしながら、現在は予算を増額するほどではないというところでございます。

○丸山委員 25ページの1節総務管理使用料、市営バス使用料が昨年は432万4,000円だったんですけど、今回400万円ということなんですが、内容を教えてください。

○藤森市民生活部長 令和5年度の実績見込みで計上させていただいております。

○藪内委員 関連で、先ほどのデマンドはマイナンバーということで無料が多いからだと思うんですが、この市営バスもマイナンバーで無料じゃなかったですか。

○藤森市民生活部長 マイナンバーカード提示で、市民の方は無料でございます。市外の利用の方は無料になっておりませんので、そういったところで使用料が出てきております。

○藪内委員 市外が結構おられるということですか。

○藤森市民生活部長 市民の方でもマイナンバーカード提示されない方は有料になりますし、あと市外の方は有料になります。市内、市外の方がどれくらい人数いるかというのは、はっきりとは把握しておりません。

○尾川委員 和気閑谷高校なんかの動向というのはどういう感じなんですか。学生の使用、和気閑谷じゃったら和気閑谷というか、和気から通う、緑陽来るのおるし、その人らは有料じゃと思うんじゃ、和気から来る場合は。その辺の動向というのは。

○藤森市民生活部長 今人数がはっきりすぐに出てこないんですけども、片上和気線なんですけれども、4便、備前市が2便、和気町が2便で4便運行していましたが、さらに2便増便しております。そういったところで、利用者は増えているのではないかと推測しております。

○森本委員長 関連でないですか。この件はよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかに質疑のある方。

○中西委員 28ページの手数料、総務手数料、戸籍住民基本台帳手数料、別紙の2で出てくるわけですけども、それぞれによって取っている人数が違うんでしょうけども、コンビニでの申請と本庁での申請と、この間やっぱりコンビニが増えてきているんでしょうか。どのくらいコンビニで取って、本庁で取っているか、戸籍の手数料のところではいかがでしょうか。

○藤森市民生活部長 戸籍はコンビニ交付をしておりません。住民票とか印鑑証明、税証明でコンビニ交付ですけれども、令和4年度1年間で3,306件でしたが、令和5年度は手数料10円にした関係もございまして1月末で8,073件と大幅に伸びております。

以上です。

○森本委員長 ほかに質疑のある方ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に進んでもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、範囲進ませていただきます。

30ページから16款国庫支出金、1項国庫負担金、2目民生費国庫負担金から37ページ、16款国庫支出金、3項国庫委託金、2目民生費委託金までを範囲といたします。

○中西委員 30ページの国庫支出金、国庫負担金、民生費国庫負担金、社会福祉総務費負担金、補正予算のところでも出ましたけども、障害者の自立支援給付費負担金、昨年度の予算から見ますと3,500万円ぐらい増えているんですけど、これもやはりグループホームあるいは就労継続のところが増えるということになるんでしょうか。

○浅野福祉事務所長 先ほど回答させていただいたとおり、グループホームといったところの伸びが大きいということで同じ内容となっております。

○奥道委員 その下の、未熟児養育医療費等負担金、どういう内容なのか、というのが昨年と変わってないんですけど。

○中野こども家庭課長 こちらは未熟児の養育医療費の負担金に係る国庫の補助金、国が2分の1、県が4分の1となっております。見込みで、昨年度と同程度ということで上げさせていただいております。未熟児医療につきましては、今年度の実績でも数件ございますので、ある程度の数字を見込んでこの金額となっております。未就学児ですか。

○奥道委員 いえ、未熟児です。ですから、要するに今年度どれぐらいの実績だったんです。

○中野こども家庭課長 2月末時点の数字ではありますけれども、延べ5件程度で、金額としましては約80万円程度の支出がございます。

○中西委員 32ページの民生費国庫補助金、4節生活保護費補助金、この生活困窮者就労準備支援事業費等補助金460万1,000円、この手としては大きいかなと思うんですけど、これは歳出ではどこに出てくるんでしょうか。

○浅野福祉事務所長 歳出で対応するところが111ページの13委託料で家計改善事務委託料、これが主なものです。あとレセプト点検の委託料等も入っております。

○中西委員 32ページ、民生費国庫補助金、児童福祉総務費補助金、児童虐待防止対策等支援事業費補助金について、新規の補助金だと思うので、内容についてお聞かせください。

○中野こども家庭課長 今年度から名称が変わっておりまして、今年度は5年度につきましては

児童虐待DV対策等総合支援事業費補助金という名前で予算を取らせていただいたものになります。内容としましては、子ども家庭総合支援拠点事業といいまして、主に虐待防止のための事業費に充てられる補助金になります。

○尾川委員 33ページの児童福祉総務費補助金、地域の子供の未来応援交付金で540万円、昨年からちょっと上がとんどですけど、どういう内容でどこで実際やとんどですか。

○中野こども家庭課長 市内の子ども食堂の運営費に係る市が出しております補助金について国から交付金が充てられるものになります。国の補助率は4分の3でございます。子ども食堂なんですが、市内現在5か所ございます。場所にすると片上、三石、日生西、日生東で、この1月に新たに伊部に新しく子ども食堂さんできられて運営していただいております。その5か所とプラスもう一件新規があったときにすぐ対応できたらということで、その6か所分の補助金に対して国の補助率4分の3を掛けた数字を上げさせていただいております。

○尾川委員 今後ともやはりこういう子ども食堂は増やしていこうと今後の方針というか、考え方、市として対応をどう考えられとんか。

○中野こども家庭課長 子ども食堂につきましては、小学校区に1か所程度ということで開設していただきたいと市では考えております。

○尾川委員 運用はもうNPOとか、あるいはそういう自主的なボランティア団体にお任せするというので、例えば回数とか、そういう制限はもう設けてないんで、勝手にと言ったら言葉が悪いんですけど、その団体の要望というか、適当に判断して実際にいくということになるわけですか。

○中野こども家庭課長 一応要項で基準を決めさせていただいております。県の補助金と同程度の内容となっておりますが、おおむね月1回以上開催をしていただいで3年間は継続していただくこと、それから子供さんの5名以上の利用を見込んでくださいというようなお願いでやっております。

○尾川委員 市の責任というのは、どこまであるんですか。というのが、ああいう食べることをするという事は保健所の関係もあったり、いろんな制約があると思うんです。その辺クリアするのにどういうふうにしとんかな、結構ああいう飲食というのは大変なように、いろんな食堂とかうわさ聞いたら、そういうことになるんで、どういう対応をされとんかなと、概略でもええですから教えてください。

○中野こども家庭課長 もちろん衛生上の関係がありますので、保健所への届出は必ずしていただいております。また、あくまでも市からの補助金ですので、その運営内容に市がいろいろ制限をかけることはありませんけれども、もちろんコロナ対策もありましたし、そういったところは気をつけていただくように指導はさせていただいております。

○尾川委員 設備投資については、補助金というものはあるんですか。

○中野こども家庭課長 設備投資につきましては、県の補助金になるんですけども、1か所当

たり開設に対して30万円の補助の制度がございます。今のところ、どこの子ども食堂さんもそれを開設のときは利用されております。

○土器委員 伊部のどこにあるんですか。

○中野こども家庭課長 1月に伊部に開設されたところにつきましては、放課後児童クラブかぜのこさんといまして、備前中のプール跡地にできた放課後児童クラブの施設を利用して子供たちのいない朝の時間を活用されて子ども食堂を始めていただいております。

○土器委員 こども園の隣ということですね。

○中野こども家庭課長 おっしゃるとおりです。

○青山委員 33ページの民生費国庫補助金、6節の独り親家庭等福祉費補助金、母子家庭等の対策総合支援事業補助金、昨年よりも半額ほどに減額になっているんですけど、内容等教えてください。

○中野こども家庭課長 市の事業であります母子家庭の独り親の保護者の方が高等職業訓練といまして、例えば保育士でありますとか看護師、介護福祉士の資格を取るための授業料等に主に補助を充てる事業になります。こちら今年度5年度の実績が今のところ対象者ゼロ人ということで、残念ながら学校等に通われている方がいらっしゃいませんので、来年度につきましては少し見込みの数を減らしまして申請されるときに対応できなかったらいけないので減額をさせていただいたんですけども、ある程度対応できる予算ということでこの金額を上げさせていただいております。

○青山委員 今言ったような種類の学校に限られるわけですか。

○中野こども家庭課長 そうですね、保育士、看護師、介護福祉士、また学校ではないんですけども簿記検定でありますとか介護士の初任者研修でありますとか、独り親さんが自立に向けて資格を取るような研修費等に補助を充てるということでございます。

○青山委員 もう少し間口を広げる考えはないですか。

○中野こども家庭課長 国の基準によって今のところ対象を決めているということですので、検討はできておりません。

○青山委員 母子家庭という名称になっているんですけど、父子家庭も入りますね。

○中野こども家庭課長 父子の御家庭も対象になっております。

○奥道委員 同じ今のところで今回対象がゼロだったということなんですが、これやっぱりPRというか、広報をしっかりとされているんですか。というのは、やはりそういう声を私じかに聞いたことがありますもんで。

○中野こども家庭課長 市の広報に載させていただいておりますのと、ハローワークさんと協働させていただいて、そういった紹介をするようにしております。

○尾川委員 33ページの衛生費国庫補助金の循環型社会形成推進交付金で508万円ほどあるんですけど、この事業内容を。

○野崎環境課長 現在建設を計画している、新最終処分場の実施設計を行うための費用と想定をしております。

○森本委員長 37ページまでよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただきます。

36ページ、17款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金から43ページの17款県支出金、3項県委託金、2目民生費県委託金までを範囲といたします。

○中西委員 36ページの民生費県負担金、児童措置費負担金、障害児の通所給付費負担金、これは例年だんだんだんだん増えてきているんですが、昨年度に比べるとここも700万円ぐらい上向いていますので、状況を少し教えていただけたらと思います。

○浅野福祉事務所長 障害児を対象とした通所支援サービスの利用料の負担です。主な内容としては、障害児のデイサービス等になってきます。発達障害とかの関係の方が増大しており、その関係もあってこの給付費が近年非常に伸びております。特に発達障害の方については、ここ10年で約10倍に増えている関係もありまして、これからも増えていくと予想されております。補助率は、県費で4分の1、国庫は4分の2になっております。

○中西委員 備前市に障害児の通所制度の施設ができてから、ここはずっと施設展開もされてきて増えているんだろうと思います。今後もしっかりと見てあげていただきたいと思います。

生活保護費負担金が5節にあるんですけど、歳入の30ページで生活保護費の生活保護費負担金の国庫負担金は実は減っているわけですね。どのくらい減っているかという、恐らく大体5,000万円ぐらい減っていると、これは法律との関係だと思うんですが、ここで県の民生費県負担金は生活保護費負担金、実はここで270万円ほど増えているんです。国の国庫負担金が減って県の負担金が増えるという、少し御説明をお願いできたらと思うんですけど。

逆に言えば、111ページの生活保護にならないためのセーフティーネットを構築するということで増えているのかなと推測はしたんですけど、それが正しいかどうか。

○浅野福祉事務所長 生活保護の国庫とか県費とはまた別に備前市とは直接関係ない方が保護された場合の施設の入所費とか、そういったもので備前市が負担した分を、例えば市外の大阪の人が備前市に來られて行き倒れ状態で保護されて施設入所したとか、そういった場合にその方の費用を県が負担してくれると、その分がここに上がっている金額になります。

○中西委員 つまりいわゆる県費の負担金ですよ。だとすれば、これは増えているんですけども、そういう行旅人だとか、そういう人たちが今年度は来年度よりも多いという見込みなわけですか。

○浅野福祉事務所長 そういった方が保護されている件数が若干人数が増えていると見込んでおります。

○尾川委員 39ページの衛生費県補助金で予防費補助金、岡山県予防接種事故対策費補助金1

88万5,000円、説明してもろうたらと思うんですが。

○高橋保健課長 令和5年6月補正で計上させていただきましたインフルエンザワクチンによって遺族年金が発生した案件についての県の補助金です。インフルエンザによって亡くなった方の遺族に遺族年金を10年間支払うという健康被害給付制度です。そのうち4分の3が県の負担、市が4分の1ということでの県の補助金でございます。

○中西委員 38ページの総務費県補助金、自治振興費補助金、中山間地域等活力創出応援事業補助金、どのような補助金なのでしょうか。

○木和田市民協働課長 こちらにつきましては県の補助メニューなんですけど、今回新しくこの補助メニューを使って部署は農政水産課で行う事業ではあるんですけど、内容を申し上げますと今問題になっているチヌのカキに対する食害等、そういったものを防ぐ目的と、あとまたチヌのそういった食への広がりというか、そういったものを両方を満たすような事業をするための経費についての補助という形になっておりまして、事業費は、後ほど歳出で出てくるんですけど、2分の1が補助上限となっております。

○中西委員 歳出では、農林水産課が使うんですか。

○木和田市民協働課長 委員おっしゃるとおりです。

○中西委員 今の話をお伺いすると、自治振興費で担当課が市民協働課が受けるようなもんじゃなくて農林水産課が受けるような補助金ですよ。

○木和田市民協働課長 この補助メニューの所管をどこにするかということなんですけど、メニューが結構幅が広い事業となっております。今回申請、手を挙げてきたのが農政水産課ではあったんですけど、ほかのメニューももしかすると対象となる事業もあるかもしれないということもありまして、どちらかの課が一括で補助の取りまとめといいますか、そういったものはするべきではないかと考えておりますので、今回についてというか、今後もですが、市民協働課での補助対応というか、そういった形を取っていかせていただければと考えております。

○中西委員 38ページの総務費県補助金、地域振興費補助金、市町村脱炭素地域づくり支援事業補助金、どのような補助金なのか教えていただければと思います。

○藤森市民生活部長 公共交通の計画策定分に対する半額補助、それから備前緑陽高校通学費助成金に対する上限が100万円の補助になっております。

○尾川委員 緑陽高校の通学費の補助金なんですけど、これは本人が申請するというのはできんわけ。要するに今市が窓口になって負担したりして補助を県からもらうんか、その辺はどんなんですか。というのは、ほかのそういうのもあるんかな、どういう過疎地帯だからなるんか、どういう名称になってそういう構成されとんか、それ分りや教えてもらえたら。

○藤森市民生活部長 こちらは市に対する補助、自治体に対する補助になるので、直接本人にというわけではなくて市が申請して市が行う事業に対する補助金になります。

○中西委員 40ページの衛生費県補助金の清掃総務費補助金、海ごみ地域対策推進事業費補助

金520万円、5年度の当初予算410万5,000円、ざっと100万円違うんですけど、昨日かな、いろいろ聞いていると実績が少なかったんじゃないかなというような感じが昨日の委員会の中の海ごみはそういう話をしていましたけど、今回ここに上がっているやつはどうなんでしょう。

○野崎環境課長 既にその歳出等いろいろ内容はもう御存じだとは思いますが、まずこちらの海ごみ県補助金については、先ほどの市民協働課の補助金と同じようにほかの部署がやる事業に対して取りまとめをしているという性格のものでございます。その中で日生総合支所、それから農政水産課、建設課、それぞれの何をやるか、事業計画を取りまとめたのがこの額ということでございます。したがって、100万円の増ということになれば、各課それぞれ今年度はさらにやる気ということだろうと考えております。

○中西委員 今の課長のお話だと100万円減ですから、それぞれの課がやる気がないということになるんですか。

○野崎環境課長 いえ、今年度が410万5,000円に対し520万円ということで109万5,000円の増という認識でございます。

○中西委員 ということは、やる気満々だと思えばいいですか。

○森本委員長 ほかに質疑のある方、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただきます。

44ページ、18款財産収入から最後59ページの22款諸収入、5項雑入、5目雑入までを範囲といたします。別紙3と別紙5を参照してください。44から最後まで、59までです。

○青山委員 57ページの雑入の総務費雑入、真ん中あたりなんですけど、コミュニティ助成事業助成金、内容を教えてください。

○木和田市民協働課長 実はこれまで当初予算を計上しておりませんでした。というのが、要望を地区から受けたものを宝くじの協会のほうが認定を採択をするのが年度末の3月の後半になっている状況でして、当初予算ではなく補正予算で計上しておりました。

ただ、件数的に例年2件程度の申請で、かつ採択も受けている状況もありまして、申請と併せてもう当初予算で6年度から計上させていただくこととなりました。

○青山委員 宝くじの分は、たしか8月か9月に申請をして、それで1月に申請が通れば下りて、そこから予算執行される流れのようなことを聞いたんですけど、それでいいですか。

○木和田市民協働課長 申請につきましては、確におっしゃるように9月末頃をめどに申請していただきます。あとは県、それからこの宝くじのほうのそれぞれの審査がございますので、それは市とやり取りをしながら採択は先ほど申し上げましたように3月になります。なので、もうどちらを考えるかなんですけど、当初で上げさせていただくことにはさせていただきました。

○青山委員 これは全額補助ということだったんですか。

○木和田市民協働課長 もろもろ条件等はございますが、10万円単位の補助になっておりますので、例えば129万円の事業費がかかるとすれば、120万円は助成される、9万円はその団体というか、地区の持ち出しとなるという制度となっております。

○中西委員 57の雑入、資料でいきますと別紙5の20ページで公共交通課にクリーンエネルギー自動車等購入促進対策補助金というのが550万円入るんですけども、これはどこから入るものなのでしょうか。

○藤森市民生活部長 経済産業省の補助金にはなりますけれども、執行団体は一般社団法人次世代自動車振興センターというところになります。

○中西委員 衛生費雑入で急速充電器提携料というのが100万円環境課に入るんですけど、これはどこから来るものなのでしょうか。

○野崎環境課長 委託先である株式会社e-Mobility Powerという会社から入ってきます。

○中西委員 その委託会社から、この100万円がキックバックされるということですか。

○野崎環境課長 収入として昨年までは自動車メーカー負担金ということで計上しておりました。契約内容が変わったということで、今回名称を変更しております。今現在、うちで設置している急速充電器が6か所あるわけですが、カードで利用者が電気を入れることができると、そのカード会社がe-Mobility Powerというところがございますので、そこと契約をする見込みでございます。

○森本委員長 ほかに質疑のある方、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳入よろしいですね、終わらせていただいて。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳入を終わらせていただきます。

休憩に入りたいと思います。

午前11時39分 休憩

午後 1時00分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

それでは、予算書の歳出に入らせていただきます。

64ページをお開きください。

範囲は2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から79ページ、2款総務費、1項総務管理費、11目地域振興費までを範囲といたします。

○尾川委員 76と77ページ、地域振興費、市交通安全対策、備前市公共交通会議のことについてお伺いしたいんですけど、特に費用的な予算というのは上がってなかったんですか。

○藤森市民生活部長 8節の報償費27万3,000円が公共交通会議に係るものです。公共交

通会議に出席される委員の方への謝礼となっております。6年度は6,500円で14名、3回を予定しております。

○尾川委員 それで、12月12日に最近では開催されとるようなんですけど、その中で赤穂線の減便のことなんかはどうもざらっと見たときに記載されていないとか、議論になっていないとお見受けするんですけど、その点は赤穂線の減便についてどう公共交通会議なんか捉えられとるかなど。

○藤森市民生活部長 公共交通会議に岡山県が出席しておりまして、県が調査した利用状況の報告であるとか、そういったような報告を受けております。

○尾川委員 ずばっと言いますけど、この間の朝日新聞にも山陽新聞にも書いてあったんですけど、庄原市長がJR芸備線の存廃問題を議論するということで今月26日にたしか会議があると、国交省が主催であるということで、それについてのメッセージを庄原市長の木山という人がメッセージとか、アピールをしとんですけど、それで各自治体にその新聞の報道によると各自治体にそういう同じような内容について文言とか、文書は送ってくるということをお話されとったと書いてあったんですけど、その点は備前市はそういうことは来てないんですか。

○藤森市民生活部長 公共交通課には来ておりません。

○尾川委員 あまり心配し過ぎてはなんですけど、その中のメッセージ、アピールの庄原市長の資料の中にJR西日本の鉄道ネットワークで1,000人以上で2,000人未満の線区というたら長船・赤穂間と、それから関係ねえですけど三原ですか、それから岩国と何とか、ローカル線が3か所JR西日本で輸送密度が1,000人以上2,000人未満ということ出とんですけど、そういうことからしてやはり少し公共交通会議でも関心持って対応していくと、この26日に開催されることが結構今後のローカル線の存続問題に影響してくると思うんで、ぜひ関心してもらいたいんですけど、そのあたりの取組について考え方を教えてもらえたらと。

○藤森市民生活部長 今岡山県であるとか、近隣市町村、それから東備西播定住自立圏、そういった中で各近隣自治体と協働して協力して政策を考えているわけですけども、公共交通会議のほうでもまたそういった御意見が聞けるかどうか、検討してまいりたいと思います。

○尾川委員 要はその公共交通会議で自分ところのバスを動かすだけじゃなしに、あくまでも宇野バスを含めて公共交通、赤穂線も減便の問題も積極的に取り組んでもらってやるとやはりその地域のこれも書いてあるんですけど、木山という昭和の市長がどこで暮らしても暮らす地域に愛着や誇りを持つ、生活できる環境が必要じゃということで芸備線の問題が先駆者じゃという捉え方になつとるんで、ぜひそういう公共交通会議でもパーソントリップの調査結果もようまだ私も見てないんですけど、備前市はどう考えとる、市民がどの程度アンケート答えたか分かりませんが、そのあたり公共交通会議でもぜひ予算取りして取組してもらおうように考えをお願いしたいんですが、いかがですか。

○藤森市民生活部長 ぜひ検討させていただきたいと、参考にさせていただきたいと思っております。

ます。

○中西委員 76ページの地域振興費の報酬と給料のところで会計年度任用職員報酬と会計年度任用職員給料が出ていますけど、違いについて教えていただけませんか。

○藤森市民生活部長 会計年度任用職員の給料は、フルタイムで運転員7名の給料になっております。それから、報酬は、パートタイム職員となっております。

○中西委員 報酬の出るパートタイムの職員も運転手なんですか。

○藤森市民生活部長 運行管理者2名になります。

○中西委員 78ページの委託料、デマンド交通運転委託料、昨年度の当初予算、令和5年度の予算が4,000万円、今回3,000万円になるんですけども、1,000万円減額されています。同時に、普通車プラス今度軽四がもう10台加わるわけですけども、もう一台車が増えればこの運行の委託料というのは増えるのかなと思うんですけども、逆に減っているんで、どのような運行を考えておられるのでしょうか。

○藤森市民生活部長 こちら3,000万円の根拠は、200万円が10台と軽四が発注してから6か月後に来るだろうということで200万円が10台なんですけど、6か月分ということで100万円の10台で合わせて3,000万円となっております。今、運行時間が8時半から15時までの運行としておりますが、この予算計上したときには利用が午前中が8割方の利用ということで、運行は午前中のみで軽四が来た段階で午後運行するか、それとも利用者が多いところに配車をするか、そういったところで考えておりました。ちょっとまだ現実的に4月1日からそれが実施できるかどうかというのは今関係機関と調整をしまして、午前中だけの運行になるか、今までどおりの運行になるか、今協議をしているところです。

○中西委員 半年後に来るというのは大丈夫なんですか。

○藤森市民生活部長 いろいろな事情があると思いますけれども、一応今のところは半年後には納車ということで考えております。

○中西委員 その軽四が来た場合に、午前を普通車が動いて、昼からは軽四が動くと、それは午前も午後も軽四が動いたほうが軽快でいいんじゃないですか。

○藤森市民生活部長 今フォルクスワーゲンと、それから今度三菱の今のところ軽自動車を予定しておりますけれども、どちらが午前になるか、どちらか午後になるかは20台そろってから、それから利用状況によっては利用が多いところに配車をもう一台増やすとか、そういったことを考えていきたいと思っております。

○中西委員 軽四も半年で来るかどうか、10台まとめてとなるとなかなかそれだけ振り当てが来るのかなというところでは疑問が残るところです。また、同時に塗装をやり直すというのをやるんでしょから、やっぱり納期の点はちょっと不安が残ります。

運行の計画がないままですけども、この200万円に引き下げるという考え方は何か根拠があるのでしょうか。

○藤森市民生活部長 時間を短くするということで減額ということです。

○藪内委員 先ほど15時までで利用が少ないから午前中に集中しているということだという、15時までだから利用が午前中に集中していると私は思うんですけど、どうでしょうか。

○藤森市民生活部長 利用状況を見ると、やはり病院とか買物に使われる方が多いということで、病院に行かれる方は午前中多いのかなと考えております。

○藪内委員 私は夕方使いたいことが多いと感じるので、時間を15時じゃなく、運転される方の雇用の状況とかあるんでしょうけど、私はもう少し時間を逆に延ばして、そのための軽四を採用するのかどうか分からない、1台でもっとフルに使えばいいのになにか高い車両なのにもったいないじゃないですけど、そのように感じますけれど、どうでしょうか。

○藤森市民生活部長 参考にさせていただきます。

○藪内委員 一般質問のときに聞き逃したと思うんですが、その軽四を配車するところは今ID4を持たれているところと同じですか、それとも別のところに。

○藤森市民生活部長 そちらも利用が少ないところもございますので、地域によって格差もございますので、多いところに2台配車するか、午前中、午後と分けて配車するか、そのあたりは今のところまだ協議中でございます。

○藪内委員 それと、前回ID4のときに、デザイン塗装込みで1,080万円の追加がありましたですね。今度一般質問でデザイン塗装込みですかということで、込みだということで3,880万円ですか、何か元の車に200万円ぐらいのついているように思うんですが。

○藤森市民生活部長 車両はデザイン込みの値段です。

○藪内委員 それは一般質問のときに聞いたんですが、もともとその軽四が1台180万円で、何かデザイン塗装が200万円ぐらいついているように思ったんですが、前はデザイン塗装が100万円ぐらいだったですね。

○藤森市民生活部長 自動車が大体デザインをせずに300万円程度ということです。

○青山委員 そもそも軽四を新たに購入する理由をもう一度教えていただけますか。

○藤森市民生活部長 細い道でも入れるようにということでございます。

○青山委員 私も以前に軽四をというふうなことを提案しましたら、なかなか10台納車できないんでということであったんですけど、そうなりますとこれ午前、午後に分けると結局どっちになるか分かりませんが、午後に軽四ということになるといいんですけど、午前のフォルクスワーゲンを使い勝手が悪いとか、それからもう一つは利用の多いところは2台を同時に使われるような言われ方したと思うんですけど、そうすると2人の運転手が必要になるじゃないかなと思います。そうすると、運転手の増員も考えなければいけないと思いますし、EV車であれば充電をするところ、車を保管するところで充電すると思うんですけど、そういう設備も倍かかるという、そういったようなことは見込まれているんですか。

○藤森市民生活部長 充電設備とか保管場所については、委託している事業者さんのところでお

願いをしているところです。委託料に含まれております。

○**青山委員** その委託料が増員になると、その分増えるんじゃないかということなんですけど。

○**藤森市民生活部長** その分、恐らく6か月後に車両が来るであろうということで、残り6か月100万円の委託料を計上させてもらっております。

○**藪内委員** もう多分引き返せないところに来ているんでしょうけれど、今これだけEVが調子悪い感じで言われているんで、普通の軽四とか、そういうのをもう納車が近くなっているから駄目なんだろうけど、何か普通のガソリン車で軽四考えたりすることはできないですか。

○**藤森市民生活部長** 脱炭素とか、そういった環境面での配慮もあって電気自動車ということにしております。今年度については納車されておりますので、今年度は電気自動車で、来年度も引き続き電気自動車を考えております。

○**藪内委員** 私も研究者じゃないんで確かじゃないですけど、何かあまりEVの有利性が怪しい感じで言われているんで、ゼロカーボンじゃ、いろんなこと言いますが、その辺どうなんでしょう。よく研究されたんでしょうか。

○**藤森市民生活部長** 地球に優しいというところで電気自動車を考えております。

○**中西委員** この地域振興費の中で、デマンドタクシーの保険料もその委託料の中に入っているんですか。

○**藤森市民生活部長** 保険料でございますが、役務費の中の自動車損害保険料の中に含まれております。

○**中西委員** 令和5年度の当初予算が146万8,000円、6年度が98万8,000円、つまり自動車が増えるのに保険料が下がるというのはどうなんでしょう。

○**藤森市民生活部長** こちらの保険料はバスも入っております、車検を受ける年、受けない年によって自賠責の保険料に変化がございます。車検を受けない車両があるので、下がっております。

○**中西委員** このデマンド型タクシーの利用状況を見ていますと、時間のところ、あるいは月のところで見ると、基本的に月のところで見ると2台も必要はないんじゃないかと、例えば西鶴なんて4月から1月見ても大体10人前後、香登においてもそうですよね。日生の東見てもそうですし、三石見てもそうですし、2台もこれは要らないんじゃないかな。要るとすれば、例えば時間的なところで伊里で朝8時半から10時の間で110人が利用されると、これはもしかしたら1台で足りないときがあるかも分からないですけども、運行時間はほぼ大体10分以内というところで運行していますから、軽四の必要性はどうも私は分からない。2台必要な、1台が出て、それでもうその次が出られないというような状況があるのかどうなのか、2台目が出るとすれば、運転手は2人目が要るわけですから、そういう体制が取れるのかどうか、今市内のタクシー事業者のところもいろいろお伺いするところによればタクシーの運転手そのものが足りないというところなんで、デマンドで取られるとますますタクシーが運行できない、呼んでも来てもらえ

ないというような話がちらほら聞こえてきてますんで、大丈夫なんかなと。その2つの点はいかがでしょうか。

○藤森市民生活部長 今の人数で2台要るかどうかということなんですけど、6年度にぜひエリアを広げたいと思っております。運行エリアに対する市民の方の要望というのが非常に大きくて、4月からは無理かもしれないんですけども、ぜひ来年度中に運行エリアを広げたいというのがあって2台を考えております。

それから、運転手については、昨今運転者不足というのが言われておりますけれども、デマンドも募集をして来ていただければと思っております。

○中西委員 1台の車で、なかなかデマンドに乗る人数が少ない。2台目を加えて運行エリアを広げると。そんなことをすると一般のタクシーの会社あるいはバスの利用です、あるいはJRの利用もこれは影響が出てくるんじゃないでしょうか。

○藤森市民生活部長 影響があるかもしれないということで、5年度は学区内ということで制限をかけておりました。1年間やってみて、やはりエリアの拡大に対する皆さんの要望というのが非常に大きくて、そういった意見を聞けばエリアを広げて利用していただきたい、あと地域間でかなり格差がありますので、施設の無いところについては不公平感を感じるということでエリアをバランスよく拡大したいと思っております。ほかの公共交通機関に対する影響なんですけれども、そのあたりがあって今協議をしているところです。

○中西委員 特に、タクシーの事業者の方の影響は大きいと思うんです。今度市がデマンドをそういう形で2台も使うということによって、タクシーの事業者の方が今度は生活が圧迫されるということになれば、これはやっぱしどうかなと思うんです。もともとデマンドというのは、家から公共交通機関までへの接続というのが目的なんだと思うんです、他の自治体なんかの話も伺ってみても。そうすると、これはデマンドでなくなってしまうという、そこどころが決まらないまま軽四を買ってしまうというのは、なかなか乱暴な話じゃないかと思うんですけど。

○藤森市民生活部長 エリア拡大については、確かに民間事業者とのタクシー事業者に理解していただくことが重要だと思っております。来年度中にぜひ理解をしていただいて、エリアの拡大をして利用が増えて軽四でも運行していきたいと思っております。

○石原委員 次々導入が進んどんじゃけど、最初は10台、当初数台だったのをもう一気に10台に補正されましたけれども、そのときもコンパクトで小回りの利く軽四車両のほうがよろしいんじゃないかろうかというような意見も出たときに、執行部のお答えとして、いや、軽四車両ですと万が一の事故の際の安全性を考えたときに普通車両の導入方針決定しましたというようなことだったんですけど、だとすればあれ何だったのかなと、あの議論はというところもありますし、それから当然部長、今やり取りの中でエリアが広がれば広がるほど、それは利用される方にとってはこれほどありがたいことはないんですけど、果たして本当にさっき言われたタクシー事業者さんとの調整がどこまでうまくいくのかな、それがもうもしかなくあれば、もう市営バス自

体の存在さえもう全てをじゃ、デマンドへエリア広げていけるんでしたら市営バスももう大きな見直しができ得るかもしれませんし、そこらを、こういうようなエリアの拡大だってデマンド運行に関する事柄を決めていくときに公共交通会議などがどういう形で議論に加わって、どういう決定権を持たれるのか分からんですけれども、そういうところもしっかり協議をされて、まずは体制を整えられた上でじゃないのかな、何か今のやり取り聞いていて改めて、もう10台ありきでいっとんかなというのを改めて感じたんですが、公共交通会議の存在というのはこういうときのエリアの見直しであったり、さっき言われたデマンド車両の運行時間の見直しだったりというところについては、公共交通会議はどのような機能を持たれるのでしょうか。

○藤森市民生活部長 エリアについては公共交通会議に諮って協議をしておりますので、変えるときも公共交通会議の協議が必要になっております。公共交通会議で協議が調う、その上で県に報告するというような形になります。

それから、時間については、時間を変えるときに公共交通会議に諮る必要があるかどうかというのは、今岡山県と協議をしております、そちらについてはまだ県からの回答がもらえてないような状況です。

○石原委員 そうような調整等も本当に大変な作業になるかとは思いますが、だからその体制がしっかり整った上でということを考えますと、もうここで一気に軽四車両10台購入に突き進むのではなくて、今のデマンド車両導入のしばらく間に合わなかったときも現存の公用車で代用運転されてたりしたじゃないですか。そういうことも最終的な車両の配置であったり、エリアであったりということが確定してからでも大丈夫じゃないかなというのは感じました。

それから、すみません、13節委託料の中のバス運転委託料、こちらは幾らか増額に昨年と比べればなっているのかな。バス運転に関しては、何か動きがあるのでしょうか。

○藤森市民生活部長 バスの運転委託料なんですけれども、デマンドの導入に伴って令和4年度から5年度にかけて大幅な減便をしております。85便減便をいたしました。かなり不便になったという声が聞かれまして、今回利用の多いと思われる路線の中で18便増便をしております。そのための委託料の増となっております。

○石原委員 車両購入については、こういう形で予算案として出ていますので判断せざるを得んですけど、公共交通に関しては前々から、確かに民間のタクシー業者さん、事業者さんもう高齢化が進んでなかなか後継者不足であったり運転手不足の面もあるんでしょうけど、同じような面積を持つ県中北部の美咲町さん、あちらが民間事業者さんをしっかり利用させていただいて町が車両を抱えず運転手を抱えず事故のリスクも抱えず民間事業者さん、タクシー業者さんにしっかり頑張らせていただいて利用される市民、町民の方には応分の幾らかの御負担をいただきながら、それ以上のところを市が町が自治体が補助するようなスタイルで、それをやると当初2社ぐらいに衰退しとったタクシー業界も利用増によって新たな参入が見られたり、だからそういうのも引き続き心根のどこかへお持ちいただいて、そういう形もありますよと、公共交通。これ見ますと行

き先として病院が圧倒的に多いのかな、その後に買物が来るのかなと思いましたが、意外と公共施設が目的地としては多くて、その後に買物が来るわけですけども、だから病院であったり買物であったり、もう本当に市民の方が生きていく上で何が何でも必要なところへ出向く交通手段ですんで、ここには税金を投入することも、これはもう大いに考えていかにやおえんことじゃ。この中身についてしっかりどうあるべきかというのを、非常に大きなテーマですけど、ちょっとさっき言うたのを心根のどっかへ片隅に置いていただいたら。

○森本委員長 デマンドはもういいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

その他でありますか。

○中西委員 78ページ、工事請負費、施設整備工事、これはどこなんでしょうか。

○竹林日生総合支所長 日生の公民館の修繕で2か所の予定になっております。中日生の公民館が、約160万円の外装補修であるとか雨漏りの補修を予定しております。あと峠小路の会館が、エアコンの修繕で130万円ほどを予定しております。

○尾川委員 公共交通機関の問題で、いろいろ資料見ても出とらんようなもう何十台とか、これ委員会、厚生できちっと明確に示されとんかどうか知らんのじゃけど、あんまりこっち理解してないんで、最終日の予算の認定のときに、来週早々までにこのあたりの公用車とか、それからデマンド交通とか、購入する台数とか、目的を明確にしてもらえんじやろうかな。

○森本委員長 それはバスじゃなくて公用車。

○尾川委員 公用車、バス、要するにデマンドとかについてそういう不特定多数というか、市民を運ぶという面から購入するという台数とか目的というのをきちっとある程度明確に、これからじゃというたら半年先じゃという言うんじゃけど、これ大事な問題だと思う。

○森本委員長 先ほどのやり取りのところのペーパーで出してくださいということですよ。

○藤森市民生活部長 提出させていただきます。

○松本委員 Grabというのを知っていますか。御存じない。例えばベトナムなんかやっています。アメリカなんかでもやって。ちょっとこれ説明したら長いですから、いつか調べて研究してほしいと思うんです。もうベトナムではGrabで電話というか、あれでSNSでぱっといって、ほんなら近くの人がずっと来るんです。そこでは、料金、いつまでに着く、何キロかかる、それまで全部出るんです。何かもうそれがぱっと広がって、今もうそれが安いんです。研究しってください、Grab。

○中西委員 78ページ、備品購入費の公用車3,800万円、軽四のEV車でいいですか。

○藤森市民生活部長 そのとおりです。

○中西委員 負担金補助及び交付金の離島定期船運航補助金、5年度の当初予算よりも300万円ぐらい増えている理由について教えてください。

○藤森市民生活部長 こちらは事業者が出してきた欠損額から国の内示額を差し引きまして、そ

れの半分が市の補助金ということになっております。内示額が少なかったというところで、補助金の額が増えておりますが、国もこれからまた上乘せがあったりしますので、最終的な額は未定でございますが、今のところの額になっております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲行かせていただきます。

80ページ、2款総務費、1項総務管理費、12目自治振興費から91ページ、2款総務費、4項選挙費までを範囲といたします。別紙7を参照にしてください。

○中西委員 80ページの役務費、その他の保険料が少し減っているんですけども、これは何か理由があるのでしょうか。

○木和田市民協働課長 その他保険料で減額になっている理由ですが、市民活動保険、5年度から実施しております保険ですが、こちら今年度の実績に基づきまして要は保険の適用に基づきまして改めて保険会社にその実績に基づいた見積りを提出していただいたところ、減額という形になっておりました。これが主な原因となっております。

○中西委員 負担金補助及び交付金でコミュニティ助成事業補助金、歳入のところで質問ありましたが、これはどこが受けるのでしょうか。

○木和田市民協働課長 6年度が吉永の東畑区、それから穂浪の難田町内会の2地区となっております。

○中西委員 負担金補助及び交付金の地域振興事業補助金、これは何をされるのでしょうか。

○木和田市民協働課長 実は新しく設定させていただいた補助金となっております、内容としましてはこれまで以前からもございました先ほどの宝くじの助成金等で、コミュニティー等の施設とか、あと備品類とか、そういったものを購入する際の補助で見えないような該当しないような対象とならないようなところを補完するためを目的として、それが例えば金額の制約、例えば100万円以上ないと対象にはなりませんよという今までの事業、宝くじの事業等を補完するために、それよりも要は低額である場合とか、ちょっと今制度設計をしているところではあるんですが、そういったところ今まで見えなかったようなところの地域活動で充足できるような制度を今回整備させていただく形となっております。

○中西委員 まだ、どこと決まってははいないですか。

○木和田市民協働課長 現時点でお話がある地区が1件はございまして、その事業の内容は今まだ確定ではないので申し上げづらいんですが、先ほど申し上げたような事業のようなものになります。地区のコミュニティー、要は施設というか、そういったものの整備のような形です。

○中西委員 なかなか今の時点で言えないというところもあるんでしょうけども、どのような事業が対象になるのか、要項なりを配付していただくようお願いできませんでしょうか。新規の事業になりますんで。

○木和田市民協働課長 内規になるか要項になるか今検討中なのですが、ある程度準備を進めておりますので、またそれが出来次第、御提示させていただこうと思います。

○石原委員 さっき同じ補助金、新規の金額も100万円ということで、どれだけの地区のどういうあれなのか分かんなんですけど、せめてでもその補助対象、さっき対象は言われましたけれども、規模が小っちゃいものとか、でもそのじゃ、1件当たり上限が幾らであったり、そういうところもまだ全くこれからということですか。

○木和田市民協働課長 要項等の整備をしているところで、ある程度構想はございます。今100万円と申し上げましたが、例えば工事費というか、そういった整備費の場合が一番金額的には費用がかさむと思いますので、そういった場合を補助限度額として100万円、補助率として、そこはまだ確定ではないんですけども2分の1もしくは3分の1、あと工事費ではない例えば備品の購入とか、あともろもろほかの原材料とか、そういった場合は補助額の上限をもう少し下げるとかという形で考えているとまでしか、御報告はできない状況です。

○石原委員 もう100万円という形で補助金、予算枠が取られて提案される際に、今のお話聞いていますと上限であったり対象のところもこれからですということなら、もうじゃ1件100万円補助金交付されてもうおしまいということもあり得るようなところですし、補助率も勘案されてこれから制度設計されて、補助率が例えば何分の1、上限100万円で10件分になるのか、そこももう全く未定ということの中で100万円予算立てをされての提案ということによろしいですか。

○木和田市民協働課長 委員おっしゃるとおりではあるんですが、まだ皆様に御提示させていただける段階ではないので、件数、要望、その希望とかが全く当然分からない状況での当初予算で上げさせていただいているので、その積算根拠というところは確かに明確に御説明できるところはございません。

○石原委員 新規の補助事業って何でもそうじゃないですか。どれだけの応募があるか分からない、ニーズがあるかも、幾らかは調査をされて提案されるんでしょうけれども、そこはもうどの補助事業も一緒じゃないですか。始まってみるとどれだけ申請があるか、だけれども最低限は制度設計はある程度されて積算根拠も示されての提案じゃないと本当にあらゆる補助事業どんどん訳分からんようになる。

○中西委員 補助金100万円の財源は、どこから来ているんでしょうか。

○木和田市民協働課長 こちらの財源につきましては、ふるさと納税の基金からの財源の充当となっております。

○森本委員長 関連ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○石原委員 86、87ページ、戸籍住民基本台帳費の8節報償費、こちらの報償金はこういった内容になるんでしょうか。

○**國光マイナンバーカード普及課長** マイナンバーカードを申請する際に今までは職員が出向いたり、あとは市民の方に来ていただいて行っているところではあるんですけども、施設とか支援団体が行う申請サポートに対して報償費を支払う予算を計上させていただいております。施設に入られていてマイナンバーカードをまだ持たれていない方が何人かいらっしゃいますので、その方たちのサポートということで施設とか支援団体が代わりに申請していくというような制度の下での報償金を1件につき2,000円ということを上限に10件の予算を見込んでおります。

○**石原委員** 参考までに、直近でマイナンバーカードの取得率が申請率は、どういう状況なんでしょう。

○**國光マイナンバーカード普及課長** 2月29日の時点での申請率につきまして93.4%です。交付率につきましては91%、そして保有率というのがあるんですけども、これは83.65%という数字になっております。

○**森本委員長** よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に進ませていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただきます。

94ページから3款民生費、1項社会福祉費、103ページの3款民生費、2項老人福祉費までを範囲といたします。

○**中西委員** 94ページの社会福祉費の社会福祉総務費、会計年度任用職員報酬、これはどうしてここにあるのでしょうか。

○**光友保健福祉部副参事** 補助対象となっている会計年度職員の分をこちらで計上させていただいております。（後刻訂正あり）

○**中西委員** 総務のところでお伺いしたのは、会計年度任用職員33人は総務に一括して持ってきましたと、今のお話だと補助対象になっている会計年度任用職員はこの原課につけると、これはそういうふうなすみ分けになっているんですか。

○**光友保健福祉部副参事** そのようになっております。こちらのほうは地域生活支援事業で補助事業で上げられる方、手話通訳者、それから権利擁護及び障害児相談の職員についての計上させていただいております。

○**尾川委員** 97ページ、社会福祉総務費の負担金補助及び交付金で社会福祉協議会補助金、変動幅が昨年に比べたらかなり金額が下がったと思うんです。こういう補助金というのはある程度固定的なもんかなという感じがするんですけど。

○**浅野福祉事務所長** 令和5年度の当初予算で重層的支援体制の整備事業の本格実施に向けて増額をしてきておるところです。それに伴って社会福祉課と協働して取り組んできておりますが、実施までに数年かかることが分かりまして令和6年度は積極的な事業展開には至らないというこ

とで、この金額になっております。

○尾川委員 活動がこれ1,000万円ぐらいじゃったと思うんじゃけど、その辺はそういう障害というか、活動できるもんですか、これだけの金額が、前後というか、上下するということ。もう事業やめりゃ人も要らんし、そりゃ金もかからんということになるんじゃけど、その辺は詳しく説明してください。

○浅野福祉事務所長 令和4年度の実績では3,400万円ほどになっており、令和5年度で重層的支援事業をするということで金額を大分増やしておりますが、実際にはそれが本格稼働には難しいということで、また数年かかるということで金額をその金額のあたりまでに今のところはなっているという状況です。

○西上委員 その下の遺族連合会補助金、同じ97ページ、18万8,000円なんですけれども、一般質問でも言いましたけれども、国からも語り部事業を自治体が一緒に協力しなさいということなんですけれども、こういう金額じゃなかなか語り部事業も前に進まないような気がするんですけど、いかがでしょうか。

○浅野福祉事務所長 委員おっしゃることはよく分かりますが、市の財政も厳しいところでありますし、去年と同額とさせていただいております。

○西上委員 語り部事業もやるとなったら、そちらに御相談させていただいて、また補正でもいただけるようによろしく願いいたします。

○青山委員 95ページ、社会福祉総務費の13節委託料、地域生活支援事業の委託料が298万2,000円と上がっていますけど、昨年が2,641万7,000円です。大幅に減額になっているんですけど、理由を教えてください。

○浅野福祉事務所長 この委託料につきましては、5年度より相談事業約2,300万円の部分が直営となっており、その部分が減額となっております。

○青山委員 もろもろのものが直営になっているという、その一つかなと思うんですけど、これの委託ってどんなんですか、令和5年度の状況というのは十分行き届いていますか。

○浅野福祉事務所長 4月から直営ということで、最初はちょっと戸惑っているところがありました。職員のほうも専門職員とかが配置され夏頃からは落ち着いて、特に私のほうには大きな苦情、クレームとかは来てない状況です。

ただ、やはり要望とかは聞いておりますので、今後の課題だと思っております。

○青山委員 ぜひサービスが低下しないようお願いしたいと思いますし、職員の方もいろいろ研修を受けて御苦労されていると思うんですけど、職員となると配属が変わったりということで継続が難しいかなとも思います。その辺の配慮をよろしく願いしたいと思います。

○浅野福祉事務所長 継続性というところが課題になっておりまして、人事については総務課とよく協議して、できるだけ配置を考えていただきたいと要望していききたいと思います。

○奥道委員 今のところの1つ上、戦没者追悼式委託料なんですけど、昨年より10万円ほどでは

あるんですけど減額になっているんですが、その辺のところ教えてください。

○浅野福祉事務所長 この戦没者追悼式につきましても、実行委員として会は開いていきながらいろいろ課題とかは実行委員会で話し合いをしていただいて、実際には直営で金額的には直営の金額で分散して支払いをする予定にしております。その委託料のところにつきましては、当日の会場の準備の委託料になっております。

○西上委員 追悼式の関連なんですけれども、今までホールでやったのがちょっとコロナからなくなったり、講話室でやったり小規模になっておるんですけども、これでもう5類になってホールでやるとなったら祭壇部も大きくなったりするんじゃないかなと思うんですけども、私も実行委員会には入ってないので、その辺の話がまだ分かりませんが、もしホールでやるとなったらこの減額された金額で足りるのでしょうか。

○浅野福祉事務所長 6年度につきましては、今年も市民センター講座室で行っておりますが、そこを想定して予算取りをしております。あと要望とか今後の状況に応じて、検討はさせていただきたいと思います。

○西上委員 6年度も講話室でということですけども、この先もし実行委員会でいや、やっぱりホールじゃということでひっくり返ったりしたら、これは考えられんことはなんですけど、それだったら補正でつけていただけるんですか。無理なことを言いました。

○中西委員 94ページの社会福祉総務費の委託料、地域生活支援事業委託料、これはどこに委託をされるのでしょうか。

○浅野福祉事務所長 減額になったのは相談支援、相談業務のところではありますが、そのほかにも要約筆記の奉仕員の養成委託とか手話通訳の派遣委託とか、10種類ほど委託があります。あと主なところは、社会福祉協議会等になっております。

○中西委員 しかし相談業務そのものは直営でやっているということですよ。

○浅野福祉事務所長 そのとおりです。

○中西委員 そうしますと、令和5年度に地域生活支援事業委託料2,641万7,000円が減額されているんですけど、今の言ったようなところを除いたところが減額されていると思えばいいんですか。

○浅野福祉事務所長 多少金額の増減はあるんですが、主なものは相談業務ということで2,300万円の部分が減額となっております。

○中西委員 使用料及び賃借料、テレビの受信料というのは新たにテレビをどちらに置かれたのでしょうか。

○光友保健福祉部副参事 新規の事業といえば新規の事業になるんですけども、公共施設にテレビにチューナーとして手話と字幕が出るようなチューナーを接続するような機器を設置したいと思っております。こちらのテレビ受信料は、公共施設の市民センターが新たにテレビを買わないといけないというところプラスそちらのほうのチューナーの使用料が含まれております。公共施

設に今のところ2か所、令和6年度は設置しまして、緊急の避難時にはそういう手話、字幕が出る、地デジの番組にダイレクトに出るといような仕組みになります。平常時は手話の番組がアーカイブとしてありますので、そちらを流しながら手話の勉強というか、啓発につなげていくといようなところを計画しております。

○中西委員 その2か所をつなげるというのは、どこどこになるのでしょうか。

○光友保健福祉部副参事 具体的にはまだ決まってないんですけども、当初は旧備前、日生、吉永、三石の4つを思っていたんですけども、財政との話で令和6年度は2か所にしてくださいといお話ですので、これから検討していくといような格好で思っております。

○中西委員 使用料及び賃借料、いつもだと車の借り上げ料が16万円あって、そして駐車料金が発生しているんですけど、この車の借り上げ料はなくてもこれは大丈夫なのでしょうか。

○光友保健福祉部副参事 昨年度は障害者福祉大会でバスを借りる計画としておりました。しかしながら、令和5年度もコロナの関係で使用せずといところで、令和6年度もバスの運転手の報酬を新たにプラスさせていただいて、市バスを利用して実行させていただくとい計画であります。

○中西委員 19節の負担金補助及び交付金、身体障害者福祉協会補助金というのが、新たに発生したのでしょうか。

○光友保健福祉部副参事 コロナの関係でここ数年止めておりました。活動自体が今もう協会があまりしてないといところで、もらってもそれに応えられるような活動がなかったといところで止めておりましたが、令和6年度になりましてコロナも落ち着いてもしかしたら活動するかもしれないといところを協会からお聞きしましたので、備前、吉永、日生各支部がございますが、そこに10万円ずつといところで今回予算計上させていただいております。

○森本委員長 休憩に入らせてください。

午後2時16分 休憩

午後2時30分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○大森保健福祉部長 先ほどの中西委員の御質問の中のところで、訂正をさせていただきたいと思います。

95ページの会計年度任用職員の報酬がここに上がっている理由ということで、補助対象になっているといところで御説明をさせていただいたかと思うんですが、総務との話の中でこちらについては違うといことで、会計年度については庁舎内の事務職は総務課でといことで、資格が要る専門職については原課でといことのみ分けてございました。

○中西委員 96ページの社会福祉総務費の負担金補助及び交付金の社会福祉協議会の補助金、説明は重層的支援体制に関わる事業は数年かかるのでここで落とすと、そうすると最初にそういう補助金をつけたこと自体が問題になってくると、しかしそれを承知の上でつけていたんでは

ないかと思うんです。今さらになってから何年かかかるんでそれを落としました、元の補助金に近い金額に元へ戻したと、そういうことをしてしまうと社会福祉協議会のこれ担当課が一番よく御存じのことで、社会福祉協議会の存続がどうなるんか、今年度の予算がどうなっていくのか、社会福祉協議会が合併時に持っていた基金を取崩さなければいけない、そういうようなことになってくるのではないかと思うんです。簡単に一言で言ってしまってもいいものかどうなのか、これは社会福祉協議会の今後の存続に関わる話なんで、そのところを担当課はどのようにお考えなんでしょうか。

○浅野福祉事務所長 担当課としては非常によく分かります。社会福祉協議会からも要望が出ており、個人的には何とかしてあげたいと考えておりますが、財政面のこともありますので金額的にはこういう金額になっているという状況です。

○中西委員 社会福祉協議会というのは一応社会福祉法人に間違いはないですけど、一般的な社会福祉法人とは違って備前市には1つしかこの社会福祉協議会というのはつukれない法人になっていると思うんです。ある意味では特殊な社会福祉の法人なわけですけども、ここが持っている細かい事業というのはかなり不採算の部分が多いわけで、その不採算の中で金がもうかるというのはなかなか難しいと、これまでもうけてきたというんか、維持できてきたのは介護保険の訪問介護あるいはデイサービスが一つは大きかった。もう一つは香典返しというのがあったわけですけど、介護の報酬もなかなか厳しくなってきた、なかなか収益が上がらない、もう一つは香典返しもなかなか少なくなってきたと、コロナになってますます厳しい状況があるわけで、これまでも備前市と社協が話をしながらどうしたらいいのかということで話を進めてきたところで、ここでこんな形で突き放してしまうと社会福祉協議会の今後の存続をどうするのか、財政的に成り立たないということであれば今赤字に転落しようとしている介護の事業を放さなければならないような形になってくる、備前市で介護事業といえどももう社会福祉協議会が最大の老舗なわけで、そこが手を引いてしまうと私は今後の備前市の福祉の基礎が崩れてしまうと思うんです。多分こんなような補助金にしてしまうと、社会福祉協議会は今年度から基金を取り崩していくような財政になっていくんじゃないか。でもその基金ももう限りがあるわけですから、そのところをどう所長の個人的な思いを備前市に伝えて、備前市がやっぱりお金を出していかなければいけないんじゃないかと、備前市の見解はどうなんですか。

○大森保健福祉部長 委員おっしゃるとおりなんですけど、社会福祉協議会と話をしながら、こういった補助金については検討しているところでございますが、委員おっしゃられましたように介護事業につきましてもなかなか伸びていないというのはお聞きしております。しかしながら、備前市におきましてもずっと右肩上がりというわけではなかなかいきませんで、その年度年度で事業内容等を精査いたしまして補助金についての検討を進めているわけで、6年度につきましましてはこういった形で回答させていただいたということでございます。もちろん社会福祉協議会に、これからはいろいろな事業を担っていただきたいとは考えておるわけでございますので、

年度年度で検討していくという中で6年度についてはこういった形になったということで御理解いただきたいなと思います。

○中西委員 備前市全体で見れば、例えばロサンゼルスドジャーススタジアムに山本由伸の応援にツアーに6,000万円かかっているんです。6,000万円上げてあげれば、これはすごい助かりますよ。さっきの何か議会に説明できない100万円の補助金もありましたけども、私は派手な事業よりもこんな地味なところへやっぱり光を当ててほしいなと思います。特にここでの社会福祉協議会に支えられたような人たちのところをどう見ていくのか、派手な政策やるよりも、もっと地味な政策のところへ力を入れていっていただきたいと思います。これは意見でもう返答はよろしいです。もう担当者レベルの話じゃないと思うんで、担当者はもうそれ以上答えられんと思うんです。これはもうトップの責任の問題です。

○尾川委員 101ページの老人福祉総務費の負担金補助及び交付金、シルバー人材センター運営事業補助金で1,000万円、これについてもどうお考えなのか、その事業拡大のことについての市としての、それはもうお任せかどうか知らんですけど、事業拡大についてその辺の意見を教えてもらえたらと思うんですけど。

○梶藤介護福祉課長 人材センターのほうへ運営についてはお願いをしているところです。だんだん会員数が減ってきているとは聞いておるところです。いろいろ高齢者も生き方といいますか、生活の仕方が多様化しているということで、ここのシルバーに登録される方の数が減ってきているとはお聞きしておりますが、地域貢献というあたりで清掃活動、公共施設の清掃活動であるとか、それから地域包括支援センターの総合事業です、高齢者の独り暮らしの方への家事支援だとか、そういうあたりは担っていただいておりますので、シルバー人材センターとしての事業の内容については今後も続けていってほしいと思っております。

○尾川委員 ぜひこれも今社会福祉協議会と何か似たような話じゃねえかなと思うたりしんですけど、これも大事な施策の一つだと、これをただ単に金出す、増やすというだけじゃいかんと思う。何の事業をするかということの知恵をやっぱり市としてはある程度導いちゃらにゃいけないじゃねえかなという感じがするんですが、あんまり口を挟んで采配してもおかしいかも分かんなくんですけど、要するにこれだけ1,000万円で恐らく国からも1,000万円出ようと思うんですけど、それが減ってきたら国からも減ってくると私は理解しとんで、やはり事業せんことにはこの決算も見たことないんですけど、そういうことについて老人福祉というか、そのあたりをどうしていくかということをやそのシルバーのことじゃというんじゃないしに、市としてもっと関心持って取り組んでいくべきじゃねえかなと、新たな仕事を探しちやるぐらいな、それに対して協力してやるというスタンスが必要なんじゃないかなと思うんですけど。

○梶藤介護福祉課長 高齢者の属する団体といいますか、本当に今多様になっているという辺で、会員数が増えないことはお互いに共有をしてどうしていったらいいかなというところはお話をしているところではあるんですけど、新たな事業といいますか、そういったあたりも介護保険

の事業を一部担っていただいておりますが、あとやはり介護保険といいますか、高齢者全般の事業の中でいうとお互いに支える仕組みみたいなものも今後必要だと思っておりますので、そういったあたりでお互いにできる役割を、お話をあまり確かにしたことはないかもしれないので、今後話をしてみたいと思います。

○尾川委員 視点を変えて偉そう指導するというほどじゃないんでしょうけど、関心持ちながらやっぱり共存共栄というか、仕事をこういうことじゃたらあるとかというふうに指導をぜひよろしゅうお願いします。

○奥道委員 101ページの19節負担金補助金、移動販売サービス事業補助金が50万円ほど減額になっているんですが、理由を教えてください。

○梶藤介護福祉課長 「とくし丸」とそれからセブンイレブン、離島へ行っていただいている分の計上になります。離島の分につきましては、前年並みで予算計上しております。約470万円減額になるんですけども、「とくし丸」については制度開始から10年ほどたちまして、事業自体の運営も安定してきています。売上げにつきましても順当に入ってきているという、ここ数年そういった状況が続く中で、今までガソリン代も出ささせていただいていたんですが、現在のこの「とくし丸」の方との協議もさせていただいて、ガソリン代についての減額をしました。車については市の所有の車になりますので、車に係る車検代とか修繕、保険料のあたりについては経費を上げております。「とくし丸」については、今1台お願いをしているんですけども、今後増えてもというところで多めに2台分の計上していたところもありましたので、その辺を精査しましてこのたび減額とさせていただきます。

○奥道委員 やはり高齢者の方でなかなかお買物に行くという、デマンド使えばいいという御意見もあるんですけども、「とくし丸」であれ離島であれ、大変好評なサービスじゃないかと思うんです、高齢者の方にとってみれば。離島の方でアイスクリームが買って帰れると喜ばれる方もいたと伺っています。何とかしてこれずっと継続できるような方策で進めていただきたいなということをお願いしたいんですが、よろしくをお願いします。

扶助費、日常生活用具給付費、シルバーカーのことじゃないかと思うんですが。

○梶藤介護福祉課長 日常生活用具給付費につきましては、委員おっしゃるとおりシルバーカーと、それから従来からありますつえとか手押し車というようなもの、それから補聴器の補助もさせていただいているということで、シニアカーのほかにも支給をさせていただいております。

○奥道委員 50万円ほど増えているというのは、やっぱり利用者が増えたということでしょうか。

○梶藤介護福祉課長 50万円の増額については、補聴器が大変申請やら相談というのが年々増えております。私も、かなりニーズが高いと思っております。もう補聴器の予算が年度途中でいつも終わってしまうという状況もありまして、このたび増額をさせていただいております。

○奥道委員 ちなみに補聴器で幾らぐらい出るんですか。

○梶藤介護福祉課長 補聴器お一人当たり5万円が上限になっております。

○青山委員 同じく101ページの19節の負担金補助及び交付金の敬老事業補助金と、それからその下に20節の扶助費の敬老祝い金があるんですけど、それぞれ目的を教えてくださいと思うんですけど。

○梶藤介護福祉課長 敬老事業補助金につきましては、地域の高齢者と地域住民の方が触れ合いをするために実施する事業について補助をさせていただくものです。これについては、令和5年度については1人当たり75歳以上の高齢者に2,000円ということで補助をさせていただいております。敬老祝い金につきましては、100歳の方へのお祝い金ということで、お一人10万円のお祝い金をお渡しさせていただいている事業です。

○中西委員 先ほどの扶助費の補聴器、今年度はどのくらいを見込んでおられますか。

○梶藤介護福祉課長 6年度は、25件を思っております。

○尾川委員 今敬老事業の補助金のことの説明があったんですけど、令和5年度で2,000円と1人当たり、分かればこの二、三年の1人当たりの平均というか、大体これ総額をくくって75歳以上の人の1人当たりの割とんじやと思うんじやけど、その辺を教えてください。

○梶藤介護福祉課長 5年度と4年度は2,000円です。令和3年度が2,050円で、令和2年度が2,100円というような状況です。

○尾川委員 それで、2,000円ぐらいはキープしようかという気持ちですか。

○梶藤介護福祉課長 高齢者の数によるんですけども、2,000円キープしたいと思っておりますが、推計でいきますと75歳以上高齢者があと2年ぐらいは伸びるんじゃないかと思っております。令和6年度はまだ出してないですが、もしかしたら少し減るかもしれません。

○尾川委員 あんたらも行く道だから、頑張って2,000円ぐらいは1人当たり、もう地元が出す出すというてやかましゅう言われるんじやけど、2,000円ぐらいは何とか頭くくる、くくるというたってそう言わずに、行く道なんで頑張ってよろしゅうお願いします。

○青山委員 2,000円でふれあい事業ということなんですけど、補助金なんで補助額をオーバーした支出ということでよろしいのでしょうか。もしそれに足りない場合には、返金ということになっとなのでしょうか。どんなんですか。

○梶藤介護福祉課長 その地区の75歳以上の人口といいますか、人数掛ける2,000円分の補助を出させていただいております。それを超える分につきましては地区のほうで御負担をさせていただいているという状況です。

○青山委員 負担はするんですけど、余った場合です。

○梶藤介護福祉課長 余った場合は、先にお支払いしている分は返していただいたり、後払いの地区もありますので、それはかかった金額でお支払いをさせていただくということになります。

○石原委員 その事業ですけど、令和6年度から少し補助対象が変更になって、これまでは単にお配りするようなものが対象だったのが令和6年度からですか、何か実際に皆さんが対象の方が

集ったり何かをされて初めて補助対象になるというような、変更になるんですか。

○梶藤介護福祉課長 変更になるといいますか、コロナ禍のこの3年ほどが、お配りをするものでも対象にしますという形でした。なので、6年度からはそれ以前の形で事業をしていただくという流れでしたので、そのようにはお願いしております。

○松本委員 1週間ぐらい前か、日生の日生地区の社協の会議出たんです。いろんな意見が出たんですけど、もう日生地区のようにほとんど高齢化率もう50%超えとることですから50%、要はいわゆる敬老会というか、社協の役員とか、ゆうあいクラブとか、こういう敬老事業、こういう市からいろんな補助あります、それを采配する人が同じ人がだんだん采配するようになってきているんです。ほんなら、ゆうあいクラブと社協の仕事というか、何かもうだんだん似てきていると言うたらおかしいですけど、そういう現実があるんです。例えばいつでしたか、何か物を配ったりとか、いろんなことをしたり、この祝い金もそうなんですけど、こういうことがやっぱりもうちょっと考えんといけんのかなという意見がぶわっと出たんです。何か同じメンバーが同じ似たような仕事と言うたらおかしいですけど、仕事そのものは違うんですけど、よう似たような、いわゆるサービスなんです。このことで特に例えば極端な例は、祝い金なんか要らんと、もうちょっと社協にお金配分してくれとか、そういう意見が出たり、いろんな出るんです。そこら辺のことをどう考えているか、何かあったら教えてください、思いを。高齢化社会、高齢化地域の現実というのは、そういう現実が来ているんです。

○梶藤介護福祉課長 よく私どもがお聞きするのは、地域の役員の方が、区長さんもしていただきながら老人クラブの役もしていただいていたたり、それから敬老事業にしても、御自分が対象である人が敬老事業の事業をされると、現実的には地域の中ではそういうことが起こっているんだとは思っております。社協さんがされる補助というのは、また市がする対象と少し違う対象もあるんじゃないかと思うんですけども、それぞれどのような事業かが分からないんですが。なので、敬老事業にしましてはやはり75歳以上の対象でありますとか、老人クラブについては60歳以上の会員が対象であるかというくくりがありますので、そういったあたりは社協さんとのさび分けはされているんだと思っております。

○松本委員 ちょっと現状何となく把握されてないなというリアルに、何かそういう答弁に聞こえますけど、もう現場というか、地域では本当さっき僕が言ったようなことがもうだんだんそうになっていくと思うんです。皆高齢化して役員がいらない、役員も高齢化する、ダブる、そして私社協の仕事しよんか、敬老会の仕事しよんか、そういう現実があるんです。市はいろいろ分けとつても、実際それを運営していく立場の方々というのは高齢化して、例えば生き粋びぜん体操を敬老会しているけど、これもだんだん会もマンネリ化してきてメニューどうしようかとか、ああしようかとか、もうそういうことが現実にある、それで祝い金来たら使わんかったらこれ返さんといけんから何か使おうよ、ほんなら何に使やというたら、もう何かそういうことが話題になったり、そういう現実ちょっと念頭に入れながら、これから将来を考えとってください。

○土器委員 老人クラブ活動補助金がありますよね。その補助金の対象は60歳じゃないかなと思うんですけど。

○梶藤介護福祉課長 老人クラブの対象は60歳以上です。

○土器委員 もう60歳で会社でも定年延長で65歳、市も何だ、65歳行きますよね。だから、もう70歳ぐらいに変えたほうがいいんじゃないかな。聞くのに、若い層は老人費負担がかえって元気がなくなるんじゃないと思うんで、もう対象を引き上げて70歳ぐらいから老人クラブという形にしたほうがいいんじゃないかと思うんですけど。

○梶藤介護福祉課長 厚労省から出ている文書の中では、60歳以上とうたわれております。

ただ、地区によっては年齢を設定されているようなところがあると思うので、そこは地区でのお話いでしていただけたところかなと思っております。

○土器委員 もし地区で例えば60歳になったら補助金をもらえると、人数に加えることができますよね、補助金もらうために。やはり年齢というか、若いですから、まだ、本来は昔だったら60歳でよかったんだけど、定年後、以前は55だった時分にできたんじゃないかと思うんですけど、実際にはもう企業では65歳まで定年延長なるとし、市のほうも65に持っていきようわけですから、せめて70歳から老人という形に変えていったほうがいいんじゃないかと思うんですが、補助金をですよ。

○梶藤介護福祉課長 補助金につきましては国、県の補助が入ってくるものになりますので、そのあたり対象者については絞られてくる場所だと思いますので、60歳から入っていただく確実に人数により補助額が決まりますので多いほうがいいというところで、皆さん60歳からの会員を求めているんじゃないかとは察しております。

○土器委員 県も60歳からもらえるわけ、補助金が。

○梶藤介護福祉課長 国の要項が60歳以上になっております。

○森本委員長 103ページまでよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ここで総合支所関係の方が退席となります。

続けてページを指定します。102の3款民生費、3項児童福祉費、1目児童福祉総務費から109ページ、3款民生費、3項児童福祉費、5目児童福祉施設費までを範囲といたします。102から109です。

○尾川委員 103ページの児童福祉総務費の報酬で子ども・子育て会議委員報酬が僅かですけどアップしとんですけど、メンバーの人数と、それから今年度の取組いろいろ、こどもまんなかとかという優しい言葉があるんですけど、計画書があるならまた見せてもらえたらと思うんですが。

○中野こども家庭課長 こちら子ども・子育て会議については、主に子ども・子育て支援事業計画についての進捗状況の確認でありますとか、子ども・子育て支援に関する総合的かつ計画的な

推進について調査審議をするために設置しておるものでございます。委員につきましては12名おられまして、報酬は1回につき6,500円となっております。今年度につきましては、開催が遅くなったんですけども、先日3月12日に開催をいたしまして今年度の計画の進捗状況の確認等をさせていただきました。来年度、この令和6年度につきましては、子ども・子育て支援事業計画が新しく策定をしなければならない年度になりますので、少し会議の開催回数を増やす予定で、予算を5回分で計上させていただいております。

○尾川委員 計画策定は年度内ということで、令和6年度中には何とかまとめる計画ですか。

○中野こども家庭課長 6年度中にまとめまして、5か年計画ですので7年から11年度までの5か年計画を策定するというところでございます。

○尾川委員 これは義務化してなかったと思うんですけど、義務がねんじゃからせんという備前市のスタンスじゃねえわけ。

○中野こども家庭課長 やはりこの計画を基にいろんな事業を展開していくということで、例えば国からの何かの事業に補助金を充てる時でありますとか、この計画があるかないかで決まる場所もございまして、ぜひつくっていきたいと思っております。

○尾川委員 メンバーはちいたあ代わっていきよん、これいつまでたっても同じ人ばあがやりよんじゃねん。

○中野こども家庭課長 同じ方もいらっしゃいますけれども、数名、保護者代表の方でありますとか、NPOの代表の方でありますとかは、新しく任命させていただいております。

○尾川委員 岸田首相も何か異次元のどうのこうのと言うぐらいだから、少しはメンバー代えて発想豊かな人になってもろうて、ぜひ子供が減るばあじゃけど、よろしゅうお願いします。

○奥道委員 105ページの19節の負担金補助及び交付金、上から2番目なんですけど、弱視等治療用眼鏡等購入費補助金、昨年の実績はどんな感じだったんでしょうか。これ金額変わってないんですが。

○中野こども家庭課長 令和4年度は、助成対象3名ありまして、全体の購入金額9万2,100円のところ補助額6万4,470円ということで支給させていただいております。今年度につきましては、一応今現在の見込みですけども、対象者2名で補助額3万9,970円となっております。実績の見込みということで、例年どおりの金額を上げさせていただいております。

○奥道委員 同じところの一番最後に、家庭育児応援金、新規事業だと思うんです。この中に待機児童の減少も期待できるとあるんですけど、現在は待機児童の状況はどんな感じですか。

○中野こども家庭課長 待機児童の現状はつかんでおりません。

○中西委員 102ページの児童総務費、報酬の会計年度任用職員報酬が昨年度より大幅に減っているんですけど、これも総務に行った会計年度任用職員報酬もあると、またここでは先ほどの話がありましたけど専門職としての会計年度任用職員は残っていると思っていいいんでしょうか。

○中野こども家庭課長 昨年度は、寒河の第三の居場所を直営にするということで、その支援員

の報酬を上げさせていただいておりました。本年度は、そこがなくなりまして家庭相談員の報酬1名分のみが残っておるといような状況でございます。

○中西委員 104ページの独り親家庭の扶助費、独り親家庭等医療費、これは少し伸びがあるんですけど、やっぱり医療費の伸びに合わせて少し増額をしているんでしょうか。

○中野こども家庭課長 おっしゃるとおりで、医療費の伸びが見込まれるということで増額させていただいております。対象人数は、それほど変わっておりません。

○中西委員 その下の母子家庭自立支援給付金、5年の当初からすると大体半分には減っているんですけど、実績ということなんでしょうか。

○中野こども家庭課長 歳入のときに少しお話をさせていただきましたが、今年度は対象者がおられなかったということで、来年度分につきましては少し減額をして計上させていただいております。

○中西委員 歳入のときにもありましたけども、周知の方法をやっぱり少し考えていただきたいなと思います。

○中西委員 108ページの児童福祉費、児童福祉施設費、需用費の修繕料が120万円見込まれています。何をされるんでしょうか。

○中野こども家庭課長 主に放課後児童クラブに対してなんですけれども、少し老朽化等修繕箇所があるクラブがございますので、そちらに1件30万円分で3件分を上げさせていただいております。それと、もう30万円は、子育て支援センター、こども家庭課で拠点を持っておりますが、そちらの排水設備が少し悪くなっておりますので、そちらの修繕料ということで合計120万円を上げさせていただいております。

○中西委員 備品購入費の施設備品、どのようなものを予定されているんでしょうか。

○中野こども家庭課長 こちらも放課後児童クラブに対してなんですけれども、防犯カメラつきの防犯灯というものがございまして、そちらを3か所設置したいと考えておりますのと、こちら子育て支援センターに芝生の広場が少しあるんですけれども、芝刈り機が駄目になりましたので新しく1台購入させていただきたいということです。

○松本委員 児童福祉総務費で19節の子どもの居場所づくりの促進事業補助金と書いていますけど、説明してくれたら。今現状備前市に居場所づくりが進められているというか、またやっている、これからつくろうとしている、現状どうなっているんですか。それと、そのための促進事業補助金というのは、具体的に何に使われるんですか。

○中野こども家庭課長 市内にあります主に子ども食堂さんに対する補助金でございます。今市内5か所ございますので、その5か所に対して月額10万円を上限に材料費、消耗費、光熱水費等でかかった経費に対して市から補助を出すというような事業でございます。

○森本委員長 109ページまでよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

108ページの3款民生費、4項生活保護費から113ページの3款民生費、5項災害救助費までを範囲といたします。

○中西委員 昨年聞いたかも分かんのですけども、委託料で家計改善支援事業委託料、どこに委託をしておられるんでしょうか。

○浅野福祉事務所長 社会福祉協議会です。

○中西委員 実績はどうでしょう。

○浅野福祉事務所長 5年度の実績としましては、6件となっております。

○尾川委員 111ページの職員手当で時間外が今年度というか、令和6年度予算では高くなっとなです、昨年の予算に比べたら。残業は減せ、減せと言ゆる時代に増やす数字が上がっとなじゃけど、払うなということじゃねんのですけど、その辺の説明をしてもらうたらと思うんです。

○浅野福祉事務所長 最近の動向としても生活保護の担当者の時間外が増えているのは現実に体感しております。特に午前中にあったように、住所不明の方とかで流れてこられて、そういう人が生活保護を申請され、施設入所の手続であったり、そういったことにすごい時間が取られているということを知っております。倍まで増えているとは思っておりませんが、通常は時間外が職員の1%程度を計上しておりますので。

○尾川委員 倍ぐらいになっとなから、今年度が149万円じゃろう。せえが昨年が71万円、実績まだ、令和4年度の実績見てねえけど、倍ぐらいになっとなから。

別に残業すなと言うんじゃねんじゃけ。要するにその要因管理というんか、仕事が増えたら人を増やすということをやはりコントロールしてちょうだいということで質問させてもらよんじゃ。その点だけ理解してもらうたらと。だから、負担かけてというんじゃねんじゃけど、その残業はある程度刺激になって私ら残業いっつも言よんじゃけど、残業され、させたれという言うぐらいたったんだけど、やっぱりその辺は適当というか、限度があるから、やはりそれに対して要因、人の配置をどうするかということ和管理者の人は考えてほしいという意味で質問させてもらうとるんです。答弁よろしいです。

○森本委員長 ほかに質疑のある方ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行かせていただいていたいいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

112ページから4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費から117ページ、4款衛生費、1項保健衛生費、2目予防費までを範囲といたします。

○尾川委員 113ページの保健衛生総務費の報酬。健康づくり推進協議会委員報酬、金額が上がっとなのですけど、それについてどういう計画であるんか、何か新たな計画を立てるんかどうかということ、13万円ほどアップしとるのですけど。

○高橋保健課長 健康づくり推進協議会において健康びぜん21計画、自殺対策予防計画、食育

推進計画を令和6年度第3次計画を見直し策定する予定にしております。その策定委員会を健康づくり推進協議会のメンバーで行いますので、委員数10名に対し5回の開催回数ということで報酬を増額しております。

○中西委員 113ページの保健衛生総務費の給料が1,200万円減っているんです。会計年度任用職員報酬は少し減っているんです。人数は少し減るといことになるんでしょうか。

○野崎環境課長 本年度5年度については、環境課7名、それから部長1名、それから保健課職員という組合せでございます。今年度6年度につきましては、環境課7名、保健課14名、計21名の構成でございます。この調整と聞いております。

○中西委員 保健課のところが2人減るんですか。

○高橋保健課長 保健課は、人数は変わらないと聞いております。

○中西委員 人数は全体としては変わらないと、しかし給料は下がると。

○野崎環境課長 今年度は、部長の給料がこちらに入っていないということで低くなっているのかなと考えております。

○中西委員 会計年度任用職員のところはどのなんでしょう。

○高橋保健課長 保健課の会計年度任用職員につきましては、育児休暇を取っていた保健師が令和5年度に2人復帰しましたので、6年度は育児休暇を取る保健師がいませんので、会計年度の職員は減額で今回計上しております。

○中野子ども家庭課長 会計年度任用職員の報酬につきまして、子ども家庭課分の職員の分も入っております。子ども家庭課につきましては、すこやか相談係の助産師と新規に事務補助員の報酬を上げさせていただいておりますので、子ども家庭課分だけを見れば増額はさせていただいております。

○石原委員 115ページの保健衛生総務費、負担金補助及び交付金の電子ポイント取扱い助成金が2つ出てきますけれども、それぞれ内容をお聞かせいただければと思うんですが。

○高橋保健課長 事業名が別でございまして、2つに分けて計上させていただきました。1万円のほうは、食育推進計画に基づいてレシピコンテストを行っております。その優秀作品について1人5,000ポイントを2人付与しています。これは昨年度まで報償費で記念品で計上していたものを電子地域ポイントに変えたものでございます。それから、一番下の電子ポイント取扱い助成金の200万円は、Bポイント事業を行っております参加者で個人の目標を達成された方に対し1人2,000円の電子ポイント、1,000人分を見込んで計上させていただいております。

○石原委員 その下の扶助費、今年度までは出産祝い金がありましたけれども、ここで見直しが必要で、もうこの事業はなくなったということで。

○中野子ども家庭課長 出産祝い金見直しまして、家庭育児応援金として統一して支給をしたいと、制度を変えさせていただきたいと思っております。

○石原委員 家庭育児がもう半年からいただけとったのをもうされてすぐで3万ポイントが2万ポイントになっていると、だからもう生まれてすぐいただけるから、そちらに出産のお祝いも併せてということによろしいですか。

○中野こども家庭課長 今年度は生後6か月からということになっておりましたものを、生後ゼロか月から、もう出産後から対象ということで、5か月までは必ずお子さんうちにおられますので、その期間は必ず月額2万円上限のポイントを支給させていただくということにしております。生まれたときに10万円一括で祝い金としてお出しするか、来年度については月額2万円上限ですので5か月分の10万円で、受け取る金額としては変わらないような設定をさせていただきました。

○尾川委員 115ページの扶助費、じん肺患者見舞金で358万8,000円、昨年と今年の対象者数を教えてもらえたら。

○高橋保健課長 令和4年度末が230人、令和5年度末今月末ですが、見込みで204人で26人の減でございます。1年間で約35人が死亡によりこの見舞金の支給対象から外れた状況でございます。

○奥道委員 負担金補助及び交付金、まず妊娠保険加入補助金、新規事業なんですけど、もうちょっと分かるように教えていただけたらと思うんですが、例えばこれ月額950円を9か月でという、そこら辺は分かるんですけど、これでどういう要はお金としてどのくらいいただけるのかなと思いつつながら、そういう角度で保険じゃないのかどうか分からないんですけど。

○中野こども家庭課長 妊娠保険といいますのが、妊娠が分かってから母体と、それからおなかの中の赤ちゃんのために入る、いわゆる傷害保険ということで、今ミニ保険という形でこういう月額1,000円未満のもので気軽に入れる保険があるということで、そちらへの加入を想定しております。

ただ、それまでに生命保険、実際傷害保険とかに入られていて、妊娠保険部分を追加で、どういう言い方が正しいか分かりませんが、追加で入られるような場合にも一応対象にしようとは考えております。ちょっと詳しくどのように手続をしていただくかというのは、今まだ検討中でございます。

○奥道委員 もうちょっと時期を待ったほうがいいわけですね。具体的にということは、これからということでもいいですね。いずれにしても4月からですもんね。

○中野こども家庭課長 4月からということにしてありますが、その辺は、未定で申し訳ありません。

○奥道委員 もう一件、同じ中で、下から2つ目に骨髄・末梢血幹細胞ドナー支援事業補助金19万5,000円、令和5年度はどんな感じだったですか。

○高橋保健課長 令和5年度は、申請実績がありませんでした。

○奥道委員 これまた6年度もやっていただけということで了解しときます。

そこの扶助費の不妊治療助成費、新規事業なんですけど、もうちょっと詳しく教えてください。

○中野こども家庭課長 新規事業シートのとおりでございますけれども、一応近隣の津山市の制度を参考にさせていただいております。内容については、私もなかなか勉強が行き届いていないんですけれども、一般不妊治療につきましては年間20件を見込んでおまして、1回につき12万円を上限と考えております。生殖補助医療といまして、体外受精とか顕微授精などの医療につきましては、年間20件を見込みまして1回につき10万円という補助金額を設定していきたいと今は考えております。

○奥道委員 今どのようにお考えになっているか、あと支給の時期です、夫婦がもらう時期についてどのようにお考えですか。

○中野こども家庭課長 一応この助成の対象者の条件の中に、医療機関において不妊症と診断されて治療の必要があると認められた方とさせていただきたいと思っておりますので、まずは医療にかかっただいて、そこから計画なりがある方について、まず相談していただく、そこで交付を、添付書類の中に受診証明書等もつけていただくようにしておりますので、一応治療を受けられた後にかかった金額をこちらから補填するような流れになるかと思えます。

○奥道委員 申請をしたらすぐにもらえるんですか。例えば何か月か待って、それで待った後に頂くということになるんですか。それとも、すぐ頂けるようになるんですか。

○中野こども家庭課長 一応支払いの後でと考えております。お支払いを医療機関にされた後で、その金額の領収書をもって、こちらで確認をさせていただくということにしたいと。だから、支払った後に市から。

○奥道委員 要するに持っていった領収書をこっぴどだけかかりましたというて窓口持っていきますね。そこから、どれぐらい。

○中野こども家庭課長 通常の子供医療費とかの申請にも通ずるところがあるかなと思うんですけど、1か月まとめて次の月に口座にお支払いということになるかなと思っております。

○奥道委員 じゃ、1か月待てばいいということで理解しとけばいいですね。

○土器委員 じん肺のところに戻るんですけど、今亡くなった方が36人ですか、実際認定された方はどんなんですか。

○高橋保健課長 令和5年度で1名の方が認定されました。

○土器委員 4年度はどんなですか。

○高橋保健課長 4年度は資料を持ってないので、後ほどお答えさせていただきます。

○森本委員長 休憩します。

午後3時38分 休憩

午後3時52分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○高橋保健課長 先ほどの土器委員のじん肺患者の新規の認定についてですが、令和3年度も一

件もありませんでした。

○青山委員 115ページの保健衛生総務費、19節負担金、下から4番目、野良猫の不妊去勢手術事業助成金、倍増しとんですけれど、今年の実績と来年の見込みを教えてください。

○高橋保健課長 野良猫の問題は地域住民の皆様が非常に問題視していただいている、昨年に比べて令和5年度は随分とこの野良猫対策に尽力をしてくださる市民の方が増えておられます。令和5年度のTNRの不妊去勢手術の助成件数を、一応270件と見込んでおります。令和4年度が107件でしたので、倍以上に伸びております。その兼ね合いから、令和6年度予算を210万円に増額をしております。見込みとしましては、令和5年度が270匹でしたので300匹を助成対象とし、1頭につき5,000円の補助対象にしております。また、新たに野良猫を捕獲してこのTNRの手術受けていただくように手間を取っていただいていることに対して、まちづくり応援金から1頭につき2,000円の補助をいただくことで別途60万円を計上しております。

○青山委員 私の家の周りにも野良猫が最近増えまして、物を置いとったらすぐ食べられたり、ごみを崩されたりするんですけど、これによる提案を増えていくのが防がれるんじゃないかなと思いますし、もうちょっと猫大事に自分がペットした猫、大事にしてほしいなど、そっちの啓蒙もよろしくをお願いします。

○土器委員 手術するのに2万円というて聞いたんですけど。

○高橋保健課長 委員おっしゃるとおり、雄が1万円から2万円、雌が2万円相当が1匹につき手術費用がかかるというのが現実でございます。

ただ、備前市の今年度270匹の助成に対して市民の野良猫対策に尽力をいただいている方が、みなしご救援隊という団体と連携して市内で多数の野良猫のTNRをしていただいています。その契約で1頭5,000円で契約をしている関係から、民間の動物病院だと1万円から2万円かかるんですが、5,000円で契約、ほとんどの270頭のうちの約170頭が5,000円で手術ができていますので手術費用はそのまま5,000円にして、このたび新たに捕獲手数料という名目で2,000円を新設しようと考えているところです。この野良猫の事業補助金はクラウドファンディングのほうで集めた基金をそのまま原資にしておりますので、助成額を1万円に上げることによりこの300頭の補助が頭数が減ることにつながりますので、市民の方には申し訳ないんですけどそういう形での金額の設定をしております。

○土器委員 今の話ですと名前聞いたんですけど忘れてんですけど、そのグループでお願いしたら5,000円できるとのことなんですね、手術が。

○高橋保健課長 市民の方が長年尽力していただいている中で、備前市の野良猫といいますか、市民の方が持ち込んだ野良猫は5,000円で日にちが決まっているんです、集合での手術になりますので、例えば備前市内で令和5年度は3回行いました。あと近隣で瀬戸内市とか岡山市で、そのみなしご救援隊が手術をするときに備前市の関係者の方が連れていったら備前市さんの

場合は5,000円でいいですよということでしたいただいているということで、近隣と合わせてもこの野良猫のTNRのことがどんどん広がっているの、補助の頭数も増えていくし野良猫も減っていくことにつながっていていると思っております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲が116ページの4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費から最後まで187ページ、13款諸支出金までを範囲といたします。別紙9と別紙13を参照にしてください。

○尾川委員 環境衛生費で117ページの報償費、資源ごみ回収推進団体報奨金400万円、これについて団体数というんですか、まだ確定はしてねえと思うんですけど、この予算の想定は団体数は何ぼなんですか。

○野崎環境課長 まず、こちらの資源ごみ回収推進団体補助金、廃品回収、そういう地区団体とかに1キロ5円、その回収した量によって報償金を出しているというものです。それぞれ団体名を登録していただく必要がございます。令和2年度は89、3年度は82、4年度は75、5年度80、コロナの関係だと思われるんですが、登録団体数が減っていたと、しかしながら5年度では75から80ということで増えております。これからこちらとしても力を入れているリサイクルというところで、上向きになっていくのかなという手応えは感じているところでございます。予算額につきましては、400万円を計上しております。これは令和4年度の決算額で38万4,000円というところで、400万円とさせていただきます。

○尾川委員 増加というか、横ばいというか、団体数はそこそこあんまり減ってない、もっと減っとんかなと思うて、その奨励策について御意見か今後のリサイクルについてどういう方針でやっていかれる計画なんですか。

○野崎環境課長 最近まではその3Rということで、リサイクルとかリユースとか、そういったところが今は5Rまで拡大されていると、ごみになりそうなものは購入しないとか、環境配慮したものを購入するとか、そういったその意識づけはもちろん重要でございます。まず、その前段といたしますか、当然今まで言い続けたこと、その資源に回せるものは資源に回すという、そのリサイクルというところで、これはごみの減量化にもつながることから、ますますうちから啓発活動といたしますか、発信していかなければならないなと思っております。

○尾川委員 その資源の回収というか、有効利用ということで、コミュニティの醸成もありますんで、ぜひ積極的に前向きに取り組んでいただきたいと思えます。

○中西委員 116ページ、環境衛生費の委託料の施設清掃委託料、これが珍しく伸びているんですけども、理由についてお聞かせください。

○野崎環境課長 前年度78万1,000円、今年度は48万4,000円ということで、29万7,000円の減額ということで認識をしておりますが。

○中西委員 数字を見誤ったかも分かりません。では、大幅な減額の理由は何なんでしょうか。

○野崎環境課長 環境課はたくさん施設を持っております。こちらの環境衛生費の中のその施設と申しますと火葬場、斎場がございます。その斎場に関わるいろいろな委託料がございます、その集計の結果、こういった金額になっているところがございますが、大きく変わったところと申しますと先ほど申しました施設清掃委託料、次に斎場管理業務委託料、こちらのほうが今現在日生斎場については直営化をしております。その関係で日生の斎場での外部委託がまるっきり減額になっているということが影響しております。

○中西委員 いろんな施設の清掃委託料なんかをずっとこの間縮小したりやめたり、非常に私は気になっているところなんで、あるところへ行くと今日そこの部署の幹部が皆掃除に行っています、本当にそもそもその人たちの仕事ができているのかどうかさえ疑うようなところであります。細かい話で言うと、市役所の私どもが乗るエレベーターなんかも床を見ると本当に汚れたまんまです。1か月何も変わりません。そういうところ、いろんな人が来るわけですけども、私はどうなんかなというのをずっと疑問に思っていて、その清掃委託料が減らされることによって、その施設の維持管理ができなくなっているというようなことを備前市内の施設、公共施設見て思ってますんで、ここで委託料が減額になってもきちんと維持管理ができて清掃ができるということで、これは考えてもよろしいでしょうか。

○野崎環境課長 大事なところは市民サービスとして、そういった施設等を気持ちよく使っていただくということが大事なんだろうと思います。その手段として誰がやるかというところで、外部委託にするのか、先ほどおっしゃられた、幹部がするのか、職員がするのか、そういったところは状況によるものだと思います。一概にこれがいいというのはないのかなとは思っております。しかしながら、先ほど申し上げたように、施設をそのまま気持ちよく使っていただくという観点で、その辺は判断していきたいなと考えております。

○中西委員 1年、2年たった時点で、どうだったのかということのやっぱり検証が必要なんだろうと思います。その点よろしく願いいたします。

○尾川委員 119ページの需用費について、消耗品費も下がるとし光熱費もかなり下がると、私の認識では下がるとんですけど、この辺大変努力されとると思ってすごいなと、そういう見方をさせてもろうとんですけど、説明していただけたらと思うんですが。

○野崎環境課長 先ほど来お話ししたように、こちらのほうは坑廃水処理場の経費に当たります。この需用費、内訳といたしまして消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料がございます。この中で、まず燃料費、光熱水費のところ、前年度は電気代が高騰していたと真ん中で、どういう金額が単価になるかというのが把握ができないようなところがあって、褒めてはいただいたんですが、実は昨年度についてはちょっと余裕を持ってその光熱費を上げていたというところはございます。あと消耗品費については、できるだけいろいろなやり方といいますか、処理の仕方を研究して、できるだけ削減ができるようにというところでいろいろと担当に考えていただいているところです。

○尾川委員 でえれえ検証されるんですけど、私はそういう評価させてもらって、もう一つ次の121ページの急速充電器の保守管理委託料、これもかなり4分の1ぐらいになっと思うんですけど、この辺は何かテクニックがあったんですか。

○野崎環境課長 別にテクニックはございません。こちらについては、まずは契約内容が変更になったということでございます。こちらそもそも市内に6か所ある急速充電器なんですけど、今から8年前に設置をしております。当時はEV化、EV自動車の普及ということで、当然こういった充電設備というのを普及させていかなければならないというところでいろんなメニューがあって、その中で8年間は保守点検を含めた金額でメーカー負担金というお金を出しましょうという事業でございました。今年度その契約が切れるものですから、来年度については全部込み込みの契約ではなく最低限の管理委託料に契約をし直したというところで、この金額になっております。

○中西委員 116ページの環境衛生費の工事請負費、斎場の火葬炉改修工事というのが上がっています。これはどこの斎場で、どのような改修工事をされるんでしょうか。

○野崎環境課長 令和6年度で予定しております事業は、耐火物の定期改修工事、それから断熱扉の改修、再燃焼炉設備改修、誘引送風機設備改修、コンプレッサー設備を修理いたしまして1,238万6,000円、こちらは全部備前斎場でございます。

○石原委員 121ページの公害対策費の中の負担金補助及び交付金、ゼロカーボンシティ促進補助金800万円、変更点とか何か見直されたりとかあれば。

○野崎環境課長 今年度非常にその応募が殺到いたしまして、約一月でも補助金が払底してしまっただけということがございます。というところで、6年度につきましては件数的には当然できるだけ維持をしようというところの観点で、5年度今年度につきましては太陽光パネルの設置、こちらについて40万円の補助ということにしておりましたものを20万円に改めるという予定でございます。対象といたしましては、今年度は太陽光パネルと蓄電池が最も多かったというところで、そこに的を絞って見込みといたしましてはそれぞれ20万円の補助金で40件、計800万円としております。

○石原委員 蓄電池と太陽光発電システムに限定をされたら、それから太陽光のところを補助額を下げたということと、大人気のあれでしたけど、絞られてどうなるか、これ予算可決後、令和6年度になって補助金事業についてはどういう形で想定をされてますか。時期であったり何かあれば。

○野崎環境課長 もう昨年度と同様にホームページとかで要項等載せることにはなるんですけど、既に問合せもいろいろ入っておりまして、すぐに補助金の申請は入ろうかなと思います。通常の補助金の手続と同じで、まずは補助申請をしていただく、うちのほうで交付決定を出す、それから工事をしていただく、実績報告を出していただく、次にそれを確認してうちのほうで補助金を出すという流れになろうかなと思います。どれだけの応募があるかについては、今のところやっ

てみないと分からないというところがございます。

○中西委員 124ページのし尿処理費、委託料で施設点検整備業務委託料というのがここで前年度よりはかなり落ちているんですけども、これで大丈夫なんでしょうか。

○野崎環境課長 今までは決まり切って何年ごとに変えなければならぬとか、毎年変えなければいけないとか、そういった形で予算を計上しておりました。そこを今回は脱水用の活性炭についてなんですけども、いつの時点で効果が切れるかとかというのは何も検証がされないまま今までは交換してきたというところがございます。今年度については、この部分を取りあえず見送るという形で結果的にこちらの委託料が減っております。

○中西委員 ということですけども、例えばその活性炭がうまく機能しているかどうか、年度途中でも検査をしたりとか、その検査体制なんかはどう考えておられますか。

○野崎環境課長 こちらは、し尿処理に伴う脱臭のための活性炭でございます。効果が切れるとか、何かしら活性炭に能力的なものが欠落したということになると、たちまち違った臭いになるのかなと思っておりますので、その辺は早急に気づけるかなとは考えております。

○中西委員 そこが慎重に私は対応していただきたいなということをお願いしておきたいと思っております。

122ページの塵芥処理費の委託料、精密機能検査業務委託料というのが260万円上がってきていますが、これも新しい委託料だから何か理由があって委託料上がるんですけども、その理由についてお聞かせいただきたいと思っております。

○野崎環境課長 最終処分場なり、ごみの焼却施設なり、こういった管理に当たっては気を遣わなければならないというか、間違いのあってはならないもの、し尿処理場もそうなんですけども、定期的に何年かに一遍、こういった精密機能検査というものを行って、その結果を報告する義務がございます。そのための、こちらは委託料になります。

○中西委員 これは何年ごとに行うものなんですか。

○野崎環境課長 3年に1回、施設によってはもしかしたら若干差があったかもしれませんが。

○尾川委員 123ページの需用費、印刷製本費でごみ袋じゃと思うんですけど、この辺の動きについて、ごみが減ってきよんじゃねえかなと、統計数字見たら減ってきよんでねえかなと思いつつながら、単価は上がるとんかも分かんんですけど、その辺の印刷製本費のことについて御説明願いたいんですけど。

○野崎環境課長 こちらの金額については、お見込みのとおりごみ袋の金額が一番影響してきます。まず、ごみ袋については45リットル、30リットル、それから燃えるごみ、あと不燃物、いろいろ種類がございます。当然在庫状況も、その年その年によって変化がございます。というところで、その在庫管理をして次の年度必要な袋の大きさ、その枚数を計上するようにしておりますので、枚数自体が毎年変わってくる、結果的に印刷製本費自体の金額が変わってくるということもございます。あとその単価につきましては、物価高というところもございますが、海外製

品を使用して単価を安くするという方法もございますので、そのあたりを研究してまいりたいというふうに考えております。

○尾川委員 今海外品というたら品質が悪いとは言えんのですけど、そのあたりでトラブルというのは、いつから導入したかよう分からんのですけど、その辺のトラブルはないんですか。

○野崎環境課長 直近で、うちが製造していただいているのも海外製品です。以前から実は瀬戸内市さんのほうで海外製品を使われていて、問題がないというところをお聞きしておりますので、うちのほうでも、これからも導入していくことを考えているところでございます。

○尾川委員 ああ言やこう言うというんじゃねえですけど、地元のものも使うたってください。あんたの努力は本当にこれ見てすごいなと思って感心させてもらうんですが、以上です。

○青山委員 125ページ、し尿処理費の19節負担金、伊里地区の街路灯、照明協議会負担金1万円なんですけど上がとんですけど、これどういう協議会で、この1万円は何に使われるんでしょうか。

○野崎環境課長 そのまま街路灯照明でございませう。建設に当たり何かしら地区協力という観点だと聞いておりますが、街路灯1つ点灯する費用を持ってくれということで伺っております。

○青山委員 し尿処理費の中に入っているんですけど、これ全部の街灯じゃないですよ。し尿処理場というか、処理関係のところの意味で。

○野崎環境課長 衛生センターの建設に当たりというところで、木生地内、衛生センターの近くの街路灯となっております。

○森本委員長 ほかに質疑のある方ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出のほう終わらせていただきます。

次に、予算書の7ページをお開きください。所管別分類表は1ページです。

質疑のある方はどうぞ。第2表の債務負担行為です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体通してもありませんか。

○中西委員 軽四の自動車の3,800万円の購入の財源はどこにあるんかということだけ教えておいていただけませんか。

○藤森市民生活部長 こちら当初予算の参考資料になるんですけども、61ページ、国県支出金が1,000万円、地方債が2,250万円で、その他として550万円。

○中西委員 550万円はどこから出るんでしょうか。

○藤森市民生活部長 55万円の補助金で、1台当たり55万円の補助金が出ます。お待ちください。経済産業省だったとは思いますが、少しお待ちください。

○中西委員 雑入で入っています。分かりました。

○藤森市民生活部長 地方債は過疎債と聞いております。

○森本委員長 よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第2号中、市民生活部、保健福祉部、総合支所関係の審査を終わります。

これをもちまして予算決算審査委員会を閉会いたします。

皆様、ありがとうございました。

午後4時30分 閉会